#### 高等学校 令和5年度(3学年用) 教科 国語 科目 現代文B

科 目: 現代文B 単位数: 2 単位

対象学年組:第 3 学年 1 組~ 4 組 使用教科書: (『新編 現代文B』教育出版

) 教科 国語 の目標:

【 知 識 及 び 技 能 】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。 【学びに向かうカ、人間性等】 言葉のもつ活への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を もち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代文B の目標:

【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 実社会に必要な国語の知識や技能を身につける 論理的に考える力や深く共感したり裕に想像 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、 生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろう とする態度を養う。

_										
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	話・聞	領域書		評価規準	知	思	態	配当 時数
	1. オリエンテーション 日本語表記のあり方を題材として、年 間の授業の方向性を理解する。	<ul><li>・指導事項 日本語の表記のあり方</li></ul>		0	D.C.	【知識・技能】 ・日本語の表記のあり方を理解することが出来る。 【学習の向かう力、人間性等】 ・日本語表記の知識を日常生活で用いる態度を持つことが出来る。	0	0	0	4
	2. 随想 説明的な文章に共通する基本的な就解 方法を理解し、文章の内容把握を正しく 行い、筆者の考えに対する自己意見を深 める。	・指導事項 説明的な文章の基本的応用的読解方法 ・教材 教科書 福岡伸一「科学の言葉、芸術の言 葉」 向田邦子「ごはん」 補助プリント	0	0	0	【知識・技能】 ・説明的な文章に臨んで、どのように読解していく か、その方法が理解出来る。 【思考力、判断力、表現力】 ・読解の結果、自己の読み取りや考えがどのように 深まったかを自己理解出来る。 【学習に向かう力、人間性等】 ・読解内容を実生活の中で役立てようとする意欲を 持つことが出来る。			0	8
1	定期考査						0	0		1
学	場人物の心情や情景描写をを正しく把握 し、文学作品として味わう。	・指導事項 小説の基本的応用的読解方法 ・教材 教科書 山田詠美「ひよこの眼」 補助プリント 絲山秋子「ベル・エポック」	0	0	0	【知識・技能】 ・小説に臨んで、どのように読解していくか、その方法が理解出来る。 【思考力、判断力、表現力】・説解の結果、自己の読み取りや考えがどのように深まったかを自己理解出来る。 【学習に向かう力、人間性等】 ・登場人物の心情を理解し、様々な人生を慮ることが出来る。	0	0	0	8
	4. 表現 作文の基本的な書き方を確認するとと もに、小論文の基本的な書き方を理解す る。 定期考査	・指導事項 小論文、作文の基本的・実践的な書き方・教材 教科書 小論文①要約の方法 小論文②文章読解型小論文の書き方 小論文②文章のリフォーム 補助プリント		0		【知識・技能】 ・小論文と作文の違いが理解出来る。 ・作文の基本的な構造が理解出来る。 ・作文の基本的な構造が理解出来る。 【思考力・判断力・表現力】 ・自分の題材を基本的な作文、小論文の構造に当てはめる事が出来る。 【学習に向かう力、人間性等】 ・作文、小論文を強い意志を持って最後まで書き終			0	6
-	た 期 号 直	  ・指導事項				【知識·技能】	U	$\cup$		Z
	5. 評論 I 難解と思われる評論の基本的な読解方 法を理解し、文章の内容把握を正しく行 い、筆者の考えに対する自己意見を深め る。	・ 指導事項 評論の基本的応用的誘解方法 ・ 教材 教科書 高階秀爾「「間」の感覚」 丸山真男「「である」ことと「す る」こと」 補助プリント	0	0	0	【知識・技能】 ・評論に臨んで、どのように読解していくか、その方法が理解出来る。 【思考力、判断力、表現力】 ・筆者の提示する意見とその根拠を読み取る。 【学習に向かう力、人間性等】 ・読解の結果、自己の読み取りや考えがどのように深まったかを自己理解出来る。	0	0	0	10
	6. 詩 詩の基本的な鑑賞方法を理解し、内容 を正しく味わい、作者の心情に自分の想 いを寄せる。	- 指導事項 詩の基本的な読み取り方・味わい方 ・教材 教科書 高村光太郎「樹下の二人」 萩原朔太郎「死なない蛸」 補助プリント	0	0	0	【知識・技能】 ・俳句や短歌に関する基礎的な知識が理解出来る。 【思考力、判断力、表現力】 ・俳句や短歌を説解し、作者の思いが理解出来る。 【学習に向かう力、人間性等】 ・読解内容をもとに、実生活の中で周りの物事に目を向けようとする意欲を持つことが出来る。			0	10
_	定期考査	The New subsection				The Mark Links	0	$\circ$		1
2 学期	小説を読解し、登場人物の心情や行動	・指導事項 ・抗災の誘解、登場人物の心情 情景描写の理解 ・教材 教科書 中島 教「山月記」 井伏鱒二「山椒魚」 補助プリント	0	0	0	【知識・技能】 ・小説に臨んで、どのように読解すれば良いか、その方法が理解出来る。 【思考力、判断力、表現力】・登場人物の心理を中心に読解をし、その結果自己の読み取りや考えがどのように深まったかを自己理解出来る。 【学習に向かう力、人間性等】・登場人物の心情を理解し、様々な人生を慮ることが出来る。	************************************	10		
	9. 評論 2 難解と思われる評論の基本的な読解方 法を理解し、文章の内容把握を正しく行 い、筆者の考えに対する自己意見を深め る。	・指導事項 評論の読解 教材書 瀬戸ロ明久「〈害虫〉の誕生」 新納 泉 「原始社会の真実」 大井玄「ゲラダヒヒの平和社会」 補助プリント	0	0	0	【知識・技能】 ・評論に臨んで、どのように読解していくか、その方法が理解出来る。 【思考力、判断力、表現力】 ・読解の結果、自己の読み取りや考えがどのように深まったかを自己理解出来る。 【学習に向かう力、人間性等】 ・読解内容を実生活の中で役立てようとする意欲を			0	10
<u> </u>	定期考査	松泽市石	<u> </u>			[[An Still ++ Ak]]	0	0		1
3 学期	! <b> </b>	<ul> <li>指導事項         小説の読解、登場人物の心情、情景描写の理解</li></ul>	0	0	0	【知識・技能】 ・小説に臨んで、どのように読解していくか、その方法が理解出来る。 【思考力、判断力、表現力】 ・読解の結果、自己の読み取りや考えがどのように深まったかを自己理解出来る。 【学習に向かう力、人間性等】 ・登場人物の心情を理解し、様々な人生を慮ることが出来る。	0	0	0	10
L	定期考査				I		0	0		1 合計

## 高等学校 令和5年度(3学年用) 教科 地理歴史 科目 日本史A

教 科: 地理歴史 科 目: 日本史A 単位数: 2 単位

対象学年組:第3 学年 1 組~ 4 組 使用教科書:(実教出版『新日本史A 新訂版』

史A 新訂版』

教科 地理歴史 の目標:

【知 識 及 び 技 能 】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、 社会に見られる課題の解決に向けて構想したりできる。

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

近現代史を中心とする日本の歴史についての基本的な事柄を、地 理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に っけている。諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取っ たり図表などにまとめたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】

【思考力、判断力、表現力等】

科目 日本史A

【知識及び技能】

の目標:

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
学	【知識及び技能】提示された史・資料から必要な情報を探し、要約することができている。近代国家の成り立ち、日清・日露戦争などの特質についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。(定期考査) 【思考力、判断力、表現力等】日本における近代国家の形成を、同時代の世界の国々と関連させ、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。(発問評価) 【学びに向かう力、人間性等】日本の近代国家の形成や、日清・日露戦争に対する関心を高め、意欲的に追究し	近代以前の歩み 第1章 近代国家と社会の形成 第1節 世界と東アジア 第2節 近代国家の誕生 第3節 近代社会の形成 第2章 二つの戦争と大日本帝国 第1節 日清戦争と日露戦争 第2節 帝国形成期の社会	【知識・技能】 定期考査において、基本的な事柄や基本的な図業・ 史資料の読み取りができる。 【思考・判断・表現】 毎時間の課題のなかで、授業のテーマについて自分 の生活や関心のある事柄と関連付けて、地震の意見 を記述できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習態度が良好であり、発言や提出物など によって積極的に学習している。	0	0	0	12
	ている。(授業能度)、「無いいに足力とでいる。(授業能度) 【知識及び技能】 ヴェルサイユ体制による国際社会の変化、デモクラシーの思想と市民文化についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ヴェルサイユ体制による国際社会、デモクラシーの思想と市民文化について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適りに表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ヴェルサイユ体制による国際社会の変化、デモクラシーの思想と市民文化について関心を高め、意欲的に追究している。	第3章 帝国とデモクラシー 第1節 大正デモクラシー 第2節 ヴェルサイユ体制とロシ ア革命 第4章 デモクラシーの展開と帝国 の変容 第1節 都市化と市民文化 第2節 東アジアの情勢と恐慌	【知識・技能】 定期考査において、基本的な事柄や基本的な図業・ 史資料の読み取りができる。  【思考・判断・表現】 毎時間の課題のなかで、授業のテーマについて自分 の生活や関心のある事柄と関連付けて、地震の意見 を記述できる。  【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習態度が良好であり、発言や提出物など によって積極的に学習している。	0	0	0	13
学	【知識及び技能】 第二次大戦、戦後社会についての基本 的な事柄を理解し、その知識を身につけ ている。 【思考力、判断力、表現力等】 第二次大戦、戦後社会について多面的・ 多角的に考察し、その過程や結果を適切 に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 第二次大戦、戦後社会について関心を高 め、意欲的に追究している。	第5章 アジアの戦争と第二次世界 大戦 第1節 日中十五年戦争 第2節 アジア太平洋戦争 第6章 現代日本の源流 第1節 戦後世界と日本 第2節 冷戦と日米安保体制	【知識・技能】 定期考査において、基本的な事柄や基本的な図業・ 史資料の読み取りができる。 【思考・判断・表現】 毎時間の課題のなかで、授業のテーマについて自分 の生活や関心のある事柄と関連付けて、地震の意見 を記述できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習態度が良好であり、発言や提出物など によって積極的に学習している。	0	0	0	12
	【知識及び技能】 日本の経済成長、現代日本の課題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の経済成長、現代日本の課題について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の経済成長、現代日本の課題について関心を高め、意欲的に追究している。	第7章 冷戦の中の経済成長 第1節 高度経済成長下の日本 第2節 経済大国 第8章 現代の日本 第1節 転換した世界のしくみ 第2節 現代日本の課題	【知識・技能】 定期考査において、基本的な事柄や基本的な図業・ 史資料の読み取りができる。 【思考・判断・表現】 毎時間の課題のなかで、授業のテーマについて自分 の生活や関心のある事柄と関連付けて、地震の意見 を記述できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習態度が良好であり、発言や提出物など によって積極的に学習している。	0	0	0	13
224	調べ学習によって、主体的に日本史 を学び自らの意見を述べる姿勢を養 う。	一・二学期の学習を踏まえ、調べ 学習を行う。	【知識・技能】・【思考・判断・表現】・【主体的に学習に取り組む態度】を調べ学習などで総合的に評価する。		0	0	20 合計 70

高等学校 令和5年度(3学年用) 教科 理科 科目 化学基礎

単位数: 2 単位 

 教 科: 理科
 科 目: 化学基礎

 対象学年組:第 3 学年 4 組

使用教科書: ( 化基317 高校化学基礎新訂版(東京書籍) )

教科 理科 の目標:

【知識及び技能】自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、目的意識をもって観察、実験を行う

【思考力、判断力、表現力等】自然の事物・現象に対する化学の基本的な概念や原理法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、科学的に探究する能力と態度を育てる

科目 化学基礎 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自ら考え、見通しをもって主体的に観察、実験を行い、化学の原理・法則を見出すとともに基本的な概念や探究する技能を身につけている。	究する過程を通して、化学的に正しく判断	日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化への関心を高め、それらを積極的に探究しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	序章 化学と人間生活 ・物質の製用 ・物質の付質と役割  【知識及び技能】 化学変化を利用し、つくられる物質の種類や役割を学ぶ 【思考力、、判断力、表現力等】 物質のはた日常活用される方法やして考える。 【学びに活や社会を支通しなりでに活や社会をを通したる場合。	教材【教科書】	【知識・技能】 金属・プラスチックの製造や再利用、洗剤や食品添加物の有用性と危険性といった知識について身につけており、物理的性質・化学的性質を調べることができる。 【思考・判断・表現】 物質のはたらきの有用性や危険性を適切な評価に基づき、化学が果たしている役割について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活を支える物質に関心を持ち、化学が社会や生活に果たしている役割について意欲的に探究しようとしている。	0	0	0	3
1 学期	1章 物質の構成 第1節 物質の構成 第2節 物質の標成粒子 【知識及び技能】 粒子の熱運動と三態、および物質 の分離、精製方法を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 物質のはたらく力の関係や、、 分離などから単体や混合物、化合物 について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 物質の構造や性る事象を通して はたらく力に関す。象を高める。	教材【教科書・ワークシート】	【知識・技能】 化学的に探究する方法を理解するとともに 粒子の熱運動と三態との関係を理解し、物質 についての微視的な見方や考え方を身につけ ている。 炎色反応などの元素の確認実験など、基本 的な実験を安全に行うことができる。 原子の構造についての知識を身につけ災害 各電子教などを理解している。 【思考・判断・表現】 実験から単体や化合物、混合物について考 察することができる。 物質の状態変化から、粒子の熱運動と粒子 間に働く力を説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質の構造や性質、粒子に働く力に関心を 持ち、意欲的に探究しようとしている。	0	0	0	9
	定期考査			0	0		1
	1章 物質の構成 第2節 物質の構成 第2節 物質の構成粒子 2章 物質と化学結合 第1節 イオン結合 第2節 共有結合と分子間力 第3節 金属結合 【知識及び技能】 粒子の結合や物質の基本的な性質 を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 様々な結合で構成される物質を、 その結合の種類と関連付けて考え る。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な例から物質が様々な構成からなることを通して、化学に対する 興味関心を高める。	指導事項 ・本章では多くの結合が学習事項 としてあり、各結合の違いと作り 方で内容が混らる可能性がある。と って繰り返し時間をかけること で本学習の定着を図るとに、結合を含めた結晶の性質などを学 ぶ。 教材【教科書・ワークシート】	【知識・技能】 物質を構成する粒子の結合について、基本的な概念や原理・法則を理解し、身につけている。 融点や沸点、溶解性、電気伝導性を確かめる実験を通して、物質の基本的な性質を調べることができる。 【思考・判断・表現】 イオン結合、金属結合、共有結合でをきた物質について、その性質を結合の種類とできないて、その性質できる。または、導いた考えを的確に表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な物質が原子、分子、イオンなどの構成粒子からなっていることを探求しようとする。	0	0	0	13
	定期考査			0	0		1
	2章 物質と化学結合 第4節 粒子の結合と結晶		【知識・技能】 原子量、分子量、式量と物質量の知識を身につけている。 表や図のデータなどから物質の性質を分析できる能力を身につけ、自ら考えを導き出したり、実験報告書を作成したできる。 【思考・判断・表現】 原子量・分子量・式量と物質量の定義を理解し、物質量を用いた基本的な計算ができる、 化学変化には一定の量的関係があることを考察できる 【主体的に学習に取り組む能度】	0	0	0	12

3 学其	<u> </u>			0	0	0	1 14 1 合計 70
2 学其	第1節 物質量と化学反応式	, 5	【知識・技能】 酸塩基指示薬やpHメータなどが扱え、身近な物質のpH測定方法を習得している。 酸・塩基の定義を理解し、日常生活と関連付けて酸・塩基反応を捉えることができ、さらに中和滴定の量的関係を理解している。 実驗器具の取り扱いができると同時に、酸。機度を求める技能を修得している。 「思考・判断・表現】 酸・塩基の強弱とpHの観察、実験などを通し、科学的に考察でき、導き出した考えを的確に表現できる。 配表現できる。 能基の定義を理解し、酸・塩基反応および中和反応を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 酸、塩基に関心をもち、それらを日常生活に関連付けて意欲的に探究しようとする。	0	0	0	14
	定期考査		代表的な物質の原子量・分子量・式量などの物質量の基本事項や、濃度との関係を関連付けて考察しようとするとともに、意欲的にそれらを探究しようとする。	0	0		1

**保健体育 科** <sup>単位数: 3</sup> 単位 高等学校 令和5年度(3学年用) 教科 科目 体育

 教 科: 保健体育
 体育
 科 目: 体育

 対象学年組:第 3 学年 1 組~ 3 組

使用教科書: (大修館書店 現代高等保健体育 )

教科 保健体育 の目標:

【知識及び技能】 基本的な動作の習得と協議の方法を理論を通じて身に付ける

競技の特性を理解したうえで、ゲームの運営を含め自己の役割を見出すことの出来るようにする 【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】 得意不得意に関わらず、積極的に取り組む姿勢を養う

科目 体育 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
		生涯体育に結び付くように、様々な種目を通じ て自己の目標を設定し、積極的に取り組めるよ うにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
	記録の向上や勝敗を競う楽しさ、喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きをある。記録に挑戦する気持ちと、安全性に配慮することを身に付ける。	オリエンテーション 基礎体力作り体つくり運動(12月まで)	【知識・技能】 基本的な動作や方法の理解 【思考・判断・表現】 補強運動の工夫 【主体的に学習に取り組む態度】 種目への積極的な参加	0	0	0	10
	ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用 具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなど の攻防を展開すること。ベース型では、個々の役割に ついて理解し連携を図ることができるように展開する こと。 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの特徴などに ついて理解する。	ネット型: バドミントン・バレーボール ペースボール型: ソフトボール	【知識・技能】 各種目の基本動作のチェック 【思考・判断・表現】 ゲームの運営 【主体的に学習に取り組む態度】	0	0	0	16
1	定期考査			0	0		1
学期		ネット型:バドミントン・バレーボール ル ベースボール型:ソフトボール	【知識・技能】 基本的な動作や方法の理解 【思考・判断・表現】 補強運動の工夫 【主体的に学習に取り組む態度】 種目への積極的な参加	0	0	0	16
	武道では、伝統的な行動の仕方を大切にし、相手を思いやり、自ら進んで技術の向上に向けて行動できるようにする。 ダンスでは、周りと協調して作品を制作することができるようにする。	剣道・柔道:礼法・基本動作 ダンス:基本的動き・作品制作	【知識・技能】 礼法の正確性 基本動作の理 【思考・判断・表現】 対人動作の理解 【主体的に学習に取り組む態度】 作品制作への参加	0	0	0	12
	定期考査			0	0		1
2	ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用 具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなど の攻防を展開すること。ベース型では、個々の役割に ついて理解し連携を図ることができるように展開する こと。 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの特徴などに ついて理解する。	ベース型 ソフトボール 体育理論	【知識・技能】 基本的な動作や方法の理解 【思考・判断・表現】 ゲームの運営 【主体的に学習に取り組む態度】 種目への積極的な参加	0	0	0	16
学期	ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用 具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなど の攻防を展開すること。ゴール型では、状況に応じた ボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによっ て空間への侵入などから攻防を展開すること。ベース 型では、個々の役割について理解し連携を図ることが できるように展開すること。	ネット型対人 卓球 ゴール型 バスケットボールベース型 ソフトボール	【知識・技能】 基本的な動作や方法の理解基本動作のチェック 【思考・判断・表現】 ゲームの運営・チームの役割の理解 【主体的に学習に取り組む態度】 種目への積極的な参加	0	0	0	12
3	自己のスピードを維持できるフォームでペース を守りながら、一定の距離を走りとおし、タイ ムを短縮したり競争したりできるようにする。		知識・技能] 基本的な動作や方法の理解 【思考・判断・表現】 フォームの研究 【主体的に学習に取り組む態度】 記録への挑戦	0	0	0	10
学期	自己のスピードを維持できるフォームでペースを守りながら、一定の距離を走りとおし、タイムを短縮したり競争したりできるようにする。	個人 陸上競技(長距離)	【知識・技能】 基本的な動作や方法の理解 【思考・判断・表現】 フォームの研究 【主体的に学習に取り組む態度】 記録への挑戦	0	0	0	11 合計 105

**保健体育 科** <sup>単位数: 2</sup> 単位 高等学校 令和5年度(3学年用) 教科 科目 体育

 教 科: 保健体育
 体育
 科 目: 体育

 対象学年組:第 3 学年 4 組

使用教科書: (大修館書店 現代高等保健体育 )

教科 保健体育 の目標:

【知識及び技能】 基本的な動作の習得と協議の方法を理論を通じて身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】 競技の特性を理解したうえで、ゲームの運営を含め自己の役割を見出すことの出来るようにする

【学びに向かう力、人間性等】 得意不得意に関わらず、積極的に取り組む姿勢を養う の目標:

科目 体育

【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 それぞれの競技を実践する中で、何が必要か何が足りないの かを常に考え行動できるようにする 生涯体育に結び付くように、様々な種目を通じて自己の目標を設定し、積極的に取り組めるようにする それぞれの競技の特性を理解し、基礎的動作の習得とゲームや試合の攻防を楽しむ態度を身に付ける、

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	記録の向上や勝敗を競う楽しさ、喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携したい 計算をある。記録に挑戦する気持ちと、安全性に配慮することを身に付ける。	オリエンテーション 基礎体力作り体つくり運動(12月まで)	【知識・技能】 基本的な動作や方法の理解 【思考・判断・表現】 補強運動の工夫 【主体的に学習に取り組む態度】 種目への積極的な参加	0	0	0	6
	ネット型では、状況に応じたボール操作や安定 した用具の操作と連携した動きによって空間を 作りだすなどの攻防を展開すること。ベース型 では、個々の役割について理解と連携を図るこ とができるように展開すること。 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの特徴 などについて理解する。	ネット型: バドミントン・バレーボール ベースボール型: ソフトボール	【知識・技能】 各種目の基本動作のチェック 【思考・判断・表現】 ゲームの運営 【主体的に学習に取り組む態度】	0	0	0	10
1				0	0		1
学期	ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開すること。ベース型では、個々の役割について理解と連携を図ることができるように展開すること。スポーツの文化的特性や現代のスポーツの特徴などについて理解する。	ネット型: バドミントン・バレーボール ペースボール型: ソフトボール	【知識・技能】 基本的な動作や方法の理解 【思考・判断・表現】 補強運動の工夫 【主体的に学習に取り組む態度】 種目への積極的な参加	0	0	0	10
	武道(剣道)では、伝統的な行動の仕方を大切にし、相手を思いやり、自ら進んで技術の向上に向けて行動できるようにする。 ダンスでは、周りと協調して作品を制作することができるようにする。	剣道: 礼法・基本動作 ダンス: 基本的動き・作品制作	【知識・技能】 礼法の正確性 基本動作の理 【思考・判断・表現】 対人動作の理解 【主体的に学習に取り組む態度】 作品制作への参加	0	0	0	10
	定期考査			0	0		1
2	ネット型では、状況に応じたボール操作や安定 した用具の操作と連携した動きによって空間を 作りだすなどの攻防を展開すること。ベース型 では、個々の役割について理解し連携を図るこ とができるように展開すること。 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの特徴 などについて理解する。	ベース型 ソフトボール 体育理論	【知識・技能】 基本的な動作や方法の理解 【思考・判断・表現】 ゲームの運営 【主体的に学習に取り組む態度】 種目への積極的な参加	0	0	0	8
学期	ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開すること。ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開すること。ベース型では、個々の役割について理解し連携を図ることができるように展開すること。	ネット型対人 卓球 ゴール型 バスケットボール ベース型 ソフトボール	【知識・技能】 基本的な動作や方法の理解基本動作のチェック 【思考・判断・表現】 ゲームの運営・チームの役割の理解 【主体的に学習に取り組む態度】 種目への積極的な参加	0	0	0	8
3		個人 陸上競技(長距離)	【知識・技能】 基本的な動作や方法の理解 【思考・判断・表現】 フォームの研究 【主体的に学習に取り組む態度】 記録への挑戦	0	0	0	8
学期	自己のスピードを維持できるフォームでペース を守りながら、一定の距離を走りとおし、タイ ムを短縮したり競争したりできるようにする。	個人 陸上競技(長距離)	【知識・技能】 基本的な動作や方法の理解 【思考・判断・表現】 フォームの研究 【主体的に学習に取り組む態度】 記録への挑戦	0	0	0	8 合計 70

高等学校 令和5年度(3学年用) 教科 外国語 科目 コミュニケーション英語Ⅱ

)

教 科: 外国語 科 目: コミュニケーション英語Ⅱ 単位数: 4 単位

対象学年組:第 3学年 3組~ 4組

使用教科書: ( 数研出版 Revised COMET English Communication II

教科 外国語 の目標:

【 知 識 及 び 技 能 】英語でのコミュニケーションに必要な英文法の基礎を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】英語で相手の考えを理解し、自分の考えを円滑に伝えられるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】相手と積極的に英語でコミュニケーションを図る意欲を育てる。

科目 コミュニケーション英語Ⅱ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語を用いた言語活動を通して、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識及び 技能を身に付ける。	で表現したり、伝え合ったりすることができ	英語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。

			•	領域	ţ						
単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	聞	読	郜[卆]	話[発]	舳	評価規準	知	思	態	配当時数
A 単元 Staying in Space 【知識及び技能】 動詞の目的語となるthat-節の基本的な用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめて、会別連して、自分できる。 b. 本文各Partの内容に関連して、自分できる。 c. 動詞の目的語となるthat-節を表ができる。 c. 動詞正しい文を書くことがの方ととができる。 【学びはに滞在的により、間性等】 を持ち、ことには、方とには、方とにに滞をあり、間にである。 【学びはにである。	<ul><li>教材 教科書、ワークブック</li></ul>	0	0		0		【知識及び技能】動詞の目的語となるthat-節の基本的な用法を理解できた。 【思考力、判断力、表現力等】 a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめて話すことができた。 b. 本文各Partの内容に関連して,自分の意見を簡潔に話す/書くことができた。 c. 動詞の目的語となるthat-節を用いて,正しい文を書くことができた。 【学びに向かう力、人間性等】 宇宙に滞在することについて関心を持ち,積極的に発言しようとしたり、聞こうとしたりした。	0		0	15
B単元 Doraemon in the U.S. 【知識及び技能】 a. S+V(want, etc.)+0(人)+to-不る。 と	・教材教科書、ワークブック	0	0			0	【知識及び技能】 a. S+V(want, etc.)+0(人)+to-不定詞の基本的な用法を理解できた。 b. アニメやマンガ以外に海外で評価されている日本の文化にはどのようなものがあることができた。 【思考力、判断力、容を簡潔にまとめて書きた。 b. 本文各Partの内容に関連してできることができた。 b. 本文各Partの内容に関連しができるに関連してできるに関連してできるに関連してできるに関連しができた。 c. S+V(want, etc.)+0(人)+to-不き d. 「相手の情報・意見を聞て、夢見を明て、おり、できて、特別でのはいからから、人間米でのした。 【学びに向からかり、の日米で言しようというというというとした。 b. ペア・ワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加した。	0	0	0	15
C 単元 Farm in the Sky 【知識及び技能】 a. 疑問詞+to-不定詞の基本的な用 法を理解している。 b. プレゼンテーションを行う際に 有用ないくつかの表現について知っ ている。	言い直す表現 ・教材						【知識及び技能】 a. 疑問詞+to-不定詞の基本的な用法を理解できた。 b. プレゼンテーションを行う際に有用ないくつかの表現について知ることができた。 c. シンガポールやその国の農業の問題点				

	c. ンンカホールやその国の農業の問題点についての知識がある。 【思考力、判断力、表現力等】 a. 本文各Partの内容を簡潔にとめて話すことができる。 め、本文各Partの内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができる。 c. 疑問詞+to-不定詞を用いて、正しい文を書直す表現」として、のまできる。 d. 「言いを用いて、ができる。 d. 「言いを用いて、ができる。 d. 「言いを用いて、ができる。 したりをすることが、人間性等】 a. 垂直農場の仕組みや利点言しより、のでいる。 も. ペション活動に積極的に参加しようとしている。 b. ペション活動に積極的に参加しようとしている。			0	0		についての知識を身に何けた。 【思考力、判断力、表現力等】 a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめて話すことができた。 b. 本文各Partの内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができた。 c. 疑問詞+to-不定詞を用いて、正しい文を書くことができた。 d. 「言い直す表現」として、I mean ~ を用いて、場面に合ったやり取りをすることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 a. 垂直農場の仕組みや利点について関心を持ち、積極的に発言しようとしたり、聞こうとした。 b. ペア・ワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加した。
	定期考査		0			0	
1 学期	D 単元 Goal Setting 【知識別問題 Setting 【知識別問題 Setting 【知識別問題 Setting 】 a. 分解に対して表している。 M Set ののである。 M Set ののののののののののののののののののののののののののののののののののの	・指導事項分詞構文相手を褒める表現・教材教科書、ワークブック					【知識及び技能】 a. 分詞構文の基本的な意味や用法を理解できた。 b. 目標達成のためのかぎや効果的な目標の立て方について、本文にある以外のものを知ることができた。 c. 目標を定め、その達成に向けて努力することの大切さを知ることができた。 【思考力、判断力、表現力等】 a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめて話すことができた。 b. 本文各Partの内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができた。 c. 分詞構文を用いて、正しい文を書くことができた。 d. 「相手をほめる表現」として、You did it!を用いて、場面に合ったやり取りをすることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 a. 目標に向かって努力することの重要性や効果的な目標の立て方について関心を持ち、積極的に発言しようとしたり、聞こうとしたりした。 b. ペア・ワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加した。
	E 単元 The High School Student Restaurant 【知識及び技能】 a. 形式主語(It)の用法やそれを用いた文の構造を理解している。 b. 将来職業を選択する際に、どのような点を考慮すべきかについて	<ul><li>・指導事項 形式主語 望みや気持ちを表す表現</li><li>・教材 教科書、ワークブック</li></ul>					【知識及び技能】 a. 形式主語(It)の用法やそれを用いた文の構造を理解できうた。 b. 将来職業を選択する際に、どのような点を考慮すべきかについて知ることができた。 c. 働くことの意義や労働から得られる喜

れるではどのような。 「大きないで、 はどって力、表現力等」。 「大きないで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、			0		0		【思考力、判断力、表現力等】 a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめて話すことができた。 b. 本文各Partの内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができた。 c. 形式主語(It)を用いて、正しいを主とができた。 d. 「望みや気持ちを表す表現」とに合ったやり取りをすることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 a. 高く生にしないで関こうとしたり、聞こうとしたりに発言しようとしたり、聞こうとしたのコミュニケーション活動に積極的に参加した。 b. ペア・ワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加した。			1
F Why Is It That Shape? 【知識及び技能】 a. 関係代名いる。 b. 根たちまざいもののを表をののののののののののののののののののののののののののののののののの	・指導事項 関係代名詞what 理由を述べる表現 ・教材 教科書、ワークブック			0		0	【知識及び技能】 a. 関係代名詞(what)の意味や用法を理解できた。 b. 私たちがふだん使う製品の形状には、さまざまな工夫がされていることを知ることができた。 c. 身の回りのものの形の理由について、本文以外の例を知ることができた。 【思考力、判断力、表現力等】 a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめて話すことができた。 b. 本文各Partの内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができた。 c. 関係代名詞(what)を用いて、正しい文を書くことができた。 d. 「理由を述べる表現」として、This is because ~. を用いて、場面に合ったやり取りをすることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 a. さまざまなものの形やその形となった型由について関心を持ち、積極的に発ったり、聞こうとしたり、聞こうとしたり、これで、またでは、プレーション活動に積極的に参加した。		0	1
定期考査		0	0	0	0	0				
G 単元 Fuji, a Dolphin With a New Fin 【知識及び技能】 a. 過去完大(had+過去分詞) の基本験) を理解に大い育る。との音話を知識を理解のとこのである。でを知る。である。でも知識である。でも知識である。でものとこのものとこのものとこのものとこのものとこのものとこのものとこのものとこ	<ul> <li>・指導事項 過去完了 感想を尋ねる表現</li> <li>・教材 教科書、ワークブック</li> </ul>		0		0	0	【知識及び技能】 a. 過去完了形(had+過去分詞)の基本的な用法(大過去/継続/完了/経験)を理解できた。 b. 水族館の飼育員や獣医の仕事についての知識がと人間が共存できる自然環境をできる自然であることができる自然を表現力、表現力等】 a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめて、自分の意見をおできた。 b. 本文各Partの内容に関連して、きまるとの大響に話す/書とができるとができた。 c. 過去を簡潔に話す/書とがでの基本的な用法(大過去/継続/完了/経験)を用法(大い文を書くことができた。d. 「感想を再いて、場面に合ったやりなどのカ、人間性等】 a. イルカのフジや、フジを助けようとしたり、できることがに対したり、間に合ったりしたりがあることができた。 【学びにかりがられて、場面に合ったというとしたりがあることができた。」といからからた。 「学びにからからなどのコミュニケーション活動に積極的に参加した。			1

	b. 相手を b. 相手を かながない。 ない。 に反対る際ったのでは のでは、 ののが、 ののが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、	使役動詞 相手の考えを尋ねる表現 ・教材 教科書、ワークブック			))		a. 使役動詞(make/let/have)の基本的な用法を理解できた。b. 相手への配慮を示しながら,相手の意見を述べいりまる意見を述べいて知ることができた。c. 外国の人からみた日本のよい点・あいなができた。c. 外国の人からみた日本のよい点ができた。出き方、判断力、表現力等】a. 本文各Partの内容に関連して,きたできた。b. 本文各Partの内容に関連して,きたできた。c. 使役動動詞(make/let/have)を用いて、正しい文を書くことができ表現」として、正しい文を書くことができ表現」として、What do you think of ~?を用いできた。d. 「相手の考えを尋ねることができた。d. 「相手の考えを尋ねることができた。」とて、場面に合ったやり取りをすることに向から力、人間性等】a. 身の回りのサービスやことしたりようとしたりした。とびに向から力、人間性等】a. 身の回りのサービスやお前に対するを持ち、でア・ワークなどのコミュニケーシン活動に積極的に参加した。		0		12
2 学	定期考査		0	0		0		0	0	0	1
-期	I 単元 Changing Feelings 【知識及び技能】 a. 関係代名詞の継続用法の形や働きを理解している。 b. 対を変別がある。 b. 対方を変別がある。 c. を考え方での内でのは、表現情では、大ケケッとので、表現情では、ないので、ないで、ないで、表別である。と知るといる。と知るといる。との書がで、大ケで、といる。との書がで、大大ケッとのので、大大ケッとのので、大大ケッとのので、大大ケッとのので、大大ケッとのので、大大ケッとので、大大ケッとので、大大ケッとので、大大ケッと、も、大大ケッと、は、「いる。」には、ないないが、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	・指導事項関係代名詞の継続用法同情を表わす表現・教材教科書、ワークブック	0				【知識及び技能】 a. 関係代名詞の継続用法の形や働きを理解できた。 b. 考え方を変えてnegative thinkingから脱却する方法について,本文以外の例を知ることができた。 c. 感情をうまくコントロールすることとができた。 「思考力、判断力、表現力等】 a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめてませができた。 b. 本文各Partの内容に関連して,きたでででできた。 b. 本文各Partの内容に関連して,またでででででででででででででででででででででででででででででででででででで	0		0	12
	J 単元 Ban Shigeru, Architect of Paper 【知識及び技能】 a. 関係副詞(when/where)の基本的 な用法を理解している。 b. 災害時の被災地支援に関し, さ まざまな取り組みの例や問題点につ	<ul><li>・指導事項 関係副詞 計画を伝える表現</li><li>・教材 教科書、ワークブック</li></ul>					【知識及び技能】 a. 関係副詞(when/where)の基本的な用法を理解できた。 b. 災害時の被災地支援に関し、さまざまな取り組みの例や問題点について知ることができた。 c. さまざまな職業が何らかの形で社会貢				

	いて知っている。 c. さまな職業が何らかの形で 社会貢献をしていることを知ってとを知っている。 【思考力、判断力、表現力等】 a. 本話すことがの内容を簡潔にもる。 b. 本の意見を簡潔にはず/書ができる。 に、関係して、とがとして、とがとしば、「計画に対して、とがとしば、「計画に対して、とがといる。」ではいる。 は、「はいいでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で						0	Tan   T				13
	定期考査		$\circ$	0	0		0		0	$\bigcirc$	$\circ$	1
3学期		<ul><li>教材 教科書、ワークブック</li></ul>						【知識及び技能】 a. 知覚動詞+0+動詞の原形/~ingの意味や用法を担解できた。 b. アパルトへがどのようなもので知ることがでの経緯について知ることができた。 c. 人種・性・社会的身分などに関係あることができた。 く, 基本知の大きを引力内容を簡潔にして、ままとができた。 b. 本文各Partの内容をに関連とが~ingの形/~ingのでも、立まの方できた。 d. 「人を誘う表現」として、How about~ing?を用いて、ま現」とし合った。 d. 「人を誘うできた。 単立という力、人間性等」のができた。 は、「人を誘うとといびできた。 は、「人を誘うとして、How about~ing?を用いて、まままでできた。 は、「人を誘うとして、大きないるとした。 b. でするといできた。 したったやりした。 したったがですっとイトでした。 したったがありした。				12
	<b>上州与</b> 直		0	0	0	0	0		0	0	0	1
												合計

高等学校 令和5年度 (3学年用) 教科 外国語 科目 コミュニケーション英語皿 教 科: 外国語 科 目: コミュニケーション英語皿 単位数: 4 単位

対象学年組:第 3 学年 1 組~ 2 組

使用教科書: (第一学習社 Viva! English Communication III )

教科 外国語

【知識及び技能】英語でのコミュニケーションに必要な英文法の基礎を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】英語で相手の考えを理解し、自分の考えを円滑に伝えられるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】相手と積極的に英語でコミュニケーションを図る意欲を育てる。

科目 コミュニケーション英語皿 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語を用いた言語活動を通して、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識及び 技能を身に付ける。	で表現したり、伝え合ったりすることができ	英語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。

			領域								
単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	聞	読		話[発]	_	評価規準	知	思	態	配当時数
A 単元 Lesson1~2 【知識及び技能】動詞の目的語となるthat-節の基本的な用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめて話すことができる。 b. 本文各Partの内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができる。 c. 動詞の目的語となるthat-節を用いて,正しい文を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 宇宙に滞在することについて関心を持ち、積極的に発言しようとしたり、関こうとしたりしている。	<ul> <li>・指導事項 that節 相手の発言を確かめる表現</li> <li>・教材 教科書、ワークブック</li> </ul>	0	0		0		【知識及び技能】動詞の目的語となるthat-節の基本的な用法を理解できた。 【思考力、判断力、表現力等】。 。本文各Partの内容を簡潔にまとめて話すことができた。 b. 本文各Partの内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができた。 c. 動詞の目的語となるthat-節を用いて、正しい文を書くことができた。 【学びに向かう力、人間性等】字宙に滞在することについて関心を持ち、積極的に発言しようとしたり、聞こうとしたりした。	0		0	13
■ 単元Lesson3~4 【知識及び技能】 a. S+V(want, etc.)+0(人)+to-不定詞の基本的な用法を理解している。 b. アニメやマンガ以外に海外で評価されているものがあるかを知っている。 【思考力、判断力、表を簡潔にまとめて話すことができる。 b. 本文各Partの内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができる。 c. S+V(want, etc.)+0(人)+to-不定詞を用いて、正しい文を書くとができる。 d. 「相手の情報・意見を聞く表現」として、How about you?を用いて、場面に合ったやり取りをするとができる。 【学びに自ったやり取りをするとができる。 し、「ドラえもん」の日米での違いについて関心を持ち、積極的に発りしたり、聞こうとしたり、聞こうとしたり。ペア・ワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加しようとしている。	・指導事項 人に要求する表現 相手の情報、意見を聞く表現 ・教材 教科書、ワークブック	0	0				【知識及び技能】 a. S+V (want, etc.)+0(人)+to-不定詞 の基本的な用法を理解できた。 b. アニメやマンガ以外に海外で評価され ている日本の文化にはどのようなものがあ るかを知ることができた。 【思考力、判断力、表現力等】 a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめて話 すことができた。 b. 本文各Partの内容に関連して、自分の 意見を簡潔に話す/書くことができた。 c. S+V (want, etc.)+0(人)+to-不定詞 を用いて、正しい文を書くことができた。 d. 「相手の情報・意見を聞く表現」として、How about you?を用いて、場面に合ったやり取りをすることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 a. 『ドラえもん』の日米での違いについ て関心を持ち、積極的に発言しようとしたり、関こうとした。 b. ペア・ワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加した。	0	0	0	12
C 単元 Lesson5~6 【知識及び技能】 a. 疑問詞+to-不定詞の基本的な用 法を理解している。 b. プレゼンテーションを行う際に 有用ないくつかの表現について知っ ている。	<ul> <li>指導事項 「どのように (何を) ~すれ ばいいか」 言い直す表現</li> <li>教材 教科書、ワークブック</li> </ul>						【知識及び技能】 a. 疑問詞+to-不定詞の基本的な用法を理解できた。 b. プレゼンテーションを行う際に有用ないくつかの表現について知ることができた。 c. シンガボールやその国の農業の問題点についての知識を身に付けた。				

	c. シンガボールやその国の農棄の問題点についての知識がある。 【思考力、判断力、表現力等】 a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめて話すことができる。 b. 本文各Partの内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができる。 c. 疑問詞+to-不定詞を用いて、正しい文を書くことができる。 d. 「言い直→表現」として、Imean ~を用いて、場面に合ったやり取りをすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 a. 垂直農場の仕組みや利点について関心を特ち、積極的に発うしている。 b. ペア・ワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加しようとしている。		0	0	0		【思考力、判断力、表現力等】 a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめて話すことができた。 b. 本文各Partの内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができた。 c. 疑問詞+to-不定詞を用いて、正しい文を書くことができた。 d. 「言い直す表現」として、I mean ~を用いて、場面に合ったやり取りをすることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 a. 垂直農場の仕組みや利点について関心を持ち、積極的に発言しようとしたり、聞こうとした。 b. ペア・ワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加した。
	定期考査		0		0	0	
1 学期	D 単元 Lesson7~8 【知識及び技能】 a. 分詞構文の基本的な意味や用法を理解している。 b. 目標達成のためのかぎや効果的な目標の立て方につている。 c. 目標の立て方につている。 c. 目標を定め、その達を知っている。 f. 思考力、判断力、表現力等】 a. 本文各Partの内容を簡潔に話す/といて、多力、判断力、容を簡潔に話す/といて、多力、半多な各Partの内容を知っている。 b. 本文各Partの内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/といて、方できる。 b. 本文を見を簡潔に話す/といて、方でといて関連して、場面である。 c. 分詞構文を用いて、近しい文を書、「相手をほめる表現」としてったやり取りをする。人間性をすることのでいて、ができる。 c. 一般では、方といて、方に、方といて、方に、方といて、方に、方といて、方に、方といて、方といて、方といて、方といて、方といて、方といて、方といて、方といて	<ul> <li>・指導事項 分詞構文 相手を褒める表現</li> <li>・教材 教科書、ワークブック</li> </ul>		0			【知識及び技能】 a. 分詞構文の基本的な意味や用法を理解できた。 b. 目標達成のためのかぎや効果的な目標の立て方について、本文にある以外のものを知ることができた。 c. 目標を定め、その違にとができた。 【思考力、判断力、表現力等】 a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめて話すことができた。 b. 本文各Partの内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができた。 c. 分詞構文を用いて、正しい文を書くことができた。 d. 「相手をほめる表現」として、You did it!を用いて、場面に合ったやり取りをすることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 a. 目標に向かって努力することの重要性や効果的な目標の立て方について関心を持ち、積極的に発言しようとしたり、聞こうとしたりした。 b. ペア・ワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加した。
	E単元 Lesson9~10 Student Restaurant 【知識及び技能】 a. 形式主語(LI)の用法やそれを用いた文の構造を理解している。b. 将来職業を選択する際に、どのような点を考慮すべきかについて知っている。 c. 働くことの意義や労働から得られる喜びにはどのようなものがあるかについて知っている。 【思考力、判断力、泰現力等】 a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめて語すことができる。b. 本文各Partの内容を簡潔に話す/書とので記録を見をを開露として、自分の意見を簡潔に話す/書ととができる。c. 形式主ととができる。c. 形式主ととができる。c. 形式主ととができる。l. a 高校生レストラン「まごの店」やを書くことができる。 「a. 高校生レストラン「まごの店」やそこで働種的に発うしたりとのった。」のよりに表したりしたりとしている。b. ペア・ワークなどのコミュニーケーション活動に積極的に参加しようとしている。	<ul> <li>指導事項 形式主語 望みや気持ちを表す表現</li> <li>教材 教科書、ワークブック</li> </ul>		0		0	【知識及び技能】 a. 形式主語(It)の用法やそれを用いた文の構造を理解できうた。 b. 将来職業を選択する際に、どのような点を考慮すべきかについて知ることができた。 c. 働くことの意義や労働から得られる喜びにはどのようなものがあるかについて知ることができた。 【思考力、判断力、表現力等】 a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめて話すことができた。 b. 本文名Partの内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができた。 c. 形式主語(It)を用いて、正しい文を書くことができた。 d. 「望みや気持ちを表す表現」として、feel like ~ingを用いて、場面に合ったやり取りをすることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 a. 高校生レストラン「まごの店」やそこで働く生徒たちについて関心を持ち、積極的に発言しようとしたり、聞こうとしたりした。 b. ペア・ワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加した。

【知識及び技能】 a. 関係代名詞(what)の意味や用法を理解している。 b. 私たちがふだん使う製品の形状には,さまざまな工夫がされていることを知っている。 c. 身の回りりのものの形の理由について,本文以外の例を知っている。 【思考力、判断力、表を簡潔にまとめて話すことができる。 b. 本文各Partの内容を関連して,自分の意見を簡潔に話す/書くことができる。 c. 関係代名詞(what)を用いて,正しい文を書くことができる。 d. 「理由を述べる表現」として, This is because ~、を用いて,協ご合ったやり取りをすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 a. さまざまなものの形やその形となった理由について関心を持ち、は動に発言しようとしたり,関こうとしたりしている。 b. ペア・リークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加しようとしている。	関係代名詞what 理由を述べる表現 ・教材 教科書、ワークブック		0	0		0	a. 関係代名詞(what)の意味や用法を理解できた。 b. 私たちがふだん使う製品の形状には、さまざまな工夫がされていることを知ることができた。 c. 身の回りのものの形の理由について、本文以外の例を知ることができた。 【思考力、判断力、表現力等】 a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめて話すことができた。 b. 本文各Partの内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができた。 c. 関係代名詞(what)を用いて、正しい文を書くことができた。 d. 「理由を述べる表現」として、This is because ~ を用いて、場面に合ったやり取りをすることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 a. さまざまなものの形やその形となった理由について関心を持ち、積極的に発言しようとしたり、聞こうとしたりした。 b. ベア・ワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加した。	1
定期考査		0	0	0	0	0		
G 単元 Lesson13~14 With a New Fin 【知識及び技能】 a. 過去完了形(had+過去分詞)の基本的な用法(大過去/継続/完了/経験)を理解している。 b. 水族館の飼育員や獣医の仕事についての知識がある。 c. 動物と人間が共存できる自然環境を守ることの大切さを知っている。 【思考力、判断力、表現力等】 a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめて話すことができる。 b. 本文各Partの内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができる。 c. 過去完了形(had+過去分詞)の基本的な用法(大過去/継続/完了/経験)を用いて、正しい文を書くことができる。 d. 「應想を尋ねる表現」として、100、100、100、100、100、100、100、100、100、10	<ul> <li>・指導事項 過去完了 感想を尋ねる表現</li> <li>・教材 教科書、ワークブック</li> </ul>	0	0		0	0	【知識及び技能】 a. 過去完了形(had+過去分詞)の基本的な用法(大過去/継続/完了/経験)を理解できた。 b. 水族館の飼育員や獣医の仕事についての知識が身に付いた。 c. 動物と人間が共存できる自然環境を守ることの大切さを知ることができた。 【思考力、判断力、表現力等】 a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめて話すことができた。 b. 本文各Partの内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができた。 c. 過去完了形(had+過去分詞)の基本的な用法(大過去/継続/完了/経験)を用いて、正しい文を書くことができた。 d. 「感想を尋ねる表現」として、How was ~? を用いて、場面に合ったやり取りをすることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 a. イルカのフジや、フジを助けようとした人々について関心を持ち、積極的に発言しようとしたり、聞こうとしたりした。 b. ペア・ワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加した。	0
H 単元 Lesson15~16 【知識及び技能】 a. 使役動詞(make/let/have)の基本的な用法を理解している。 b. 相手への配慮を示しながら,相手の意見に反対したり,異なる意見を述べたりする際に有用ないくつかの表現について知っている。 c. 外国の人からみた日本のよい	<ul> <li>・指導事項 使役動詞 相手の考えを尋ねる表現</li> <li>・教材 教科書、ワークブック</li> </ul>						【知識及び技能】 a. 使役動詞(make/let/have)の基本的な用法を理解できた。 b. 相手への配慮を示しながら、相手の意見に反対したり、異なる意見を述べたりする際に有用ないくつかの表現について知ることができた。 c. 外国の人からみた日本のよい点・悪い点について、いくつかの具体例を知ることができた。	

	体例を知っている。 【思考力、判断力、表現力等】 a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめて話すことができる。 b. 本文各Partの内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができる。 c. 使役動詞(make/let/have)を用いて、正しい文を書くことができる。 d. 「相手の考えを尋ねる表現」として、What do you think of ~?を用いて、場面に合ったやり取りをすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 a. 身の回りのサービスやそれに対する日本と海外の考え方の違いについて関心を持ち、積極的に発言していて関心を持ち、関こうとしたり、関こうとしたり、関こうとしたり、関こを加しまうとしたり、関こを加したの。 b. ペア・ワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加しようとしている。		0	0				【思考力、判断力、表現力等】 a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめて話すことができた。 b. 本文各Partの内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができた。 c. 使役動詞(make/let/have)を用いて、正しい文を書くことができた。 d. 「相手の考えを尋ねる表現」として、場面に合ったやり取りをすることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 a. 身の回りのサービスやそれに対する日本と海外の考え方の違いについて関心を持ち、積極的に発言しようとしたり、聞こうとしたりした。 b. ペア・ワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加した。	0	0	0	10
2	定期考査		0	0		(	0		0	0	0	1
学期	I単元 Lesson17~18 【知識及び技能】 a. 関係代名詞の継続用法の形や働きを理解している。 b. 考え方を変えてnegative thinkingから脱却する方法について、本文以外の例を知っている。 c. 感情をうまくコントロールすることやメンタルペルスケアの重要性を知っている。 【思考力、判断力、表現力等】 a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめて話すことができる。 b. 本文各Partの内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができる。 c. 関係代名詞の継続用法を用いて、自分の意見を簡潔に話け/書くことができる。 d. 「同情する表現」として、「hat's too bad を用いて、場面に合ったやり取りをすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 a. 感情と思考の関連性について関心を持ち、積極的に発言している。 b. ペア・ワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加しようとしている。	<ul> <li>・指導事項 関係代名詞の継続用法 同情を表わす表現</li> <li>・教材 教科書、ワークブック</li> </ul>	0	0	C			【知識及び技能】 a. 関係代名詞の継続用法の形や働きを理解できた。 b. 考え方を変えてnegative thinkingから脱却する方法について、本文以外の例を知ることができた。 c. 感情をうまくコントロールすることやメンタルヘルスケアの重要性を知ることができた。 【思考力、判断力、表現力等】 a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめて話すことができた。 b. 本文各Partの内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができた。 c. 関係代名詞の継続用法を用いて、正しい文を書くことができた。 d. 「同情する表現」として、That's toobad. を用いて、場面に合ったやり取りをすることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 a. 感情と思考の関連性について関心を持ち、積極的に発言しようとしたり、問こうとしたりした。 したりした。		0	0	10
	J 単元 Lesson19~20 Architect of Paper 【知識及び技能】 a. 関係副詞(when/where)の基本的な用法を理解している。 b. 災害時の被災地支援に関し、さまざまな取り組みの例や問題点につ	<ul><li>・指導事項 関係副詞 計画を伝える表現</li><li>・教材 教科書、ワークブック</li></ul>						【知識及び技能】 a. 関係副詞(when/where)の基本的な用法 理解できた。 b. 災害時の被災地支援に関し、さまざま な取り組みの例や問題点について知ること ができた。 c. さまざまな職業が何らかの形で社会貢				

	いて知っている。 c. さまざまな職業が何らかの形で社会貢献をしていることを知っている。 【思考力、判断力、表現力等】 a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめて話すことができる。 b. 本文各Partの内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができる。 c. 関係副詞(when/where)を用いて、正しい文を書くことができる。 d. 「計画を伝える表現」として、I'm thinking of ~ing. / I'm going to ~. を用いて、場面に合ったやり取りをすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 a. 建築家坂茂さんと彼の活動について関心を持ち、積極的に発している。 上でリークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加しようとしている。		0	0	0			献をしていることを知ることができた。 【思考力、判断力、表現力等】 a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめて話すことができた。 b. 本文各Partの内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができた。 c. 関係副詞(when/where)を用いて、正しい文を書くことができた。 d. 「計画を伝える表現」として、I'm thinking of ~ing. / I'm going to ~. を用いて、場面に合ったやり取りをすることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 a. 建築家 坂 茂さんと彼の活動について関心を持ち、積極的に発言しようとしたり、聞こうとしたりした。b. ペア・ワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加した。
	定期考査		0	0	0		(	
	K 単元 Lesson21~22 【知識及び技能】 a. 知覚動詞+0+動詞の原形/~ingの意味や用法を理解している。 b. アパルト〜イトがどのようなものであるかと、その撤廃までの経緯についている。 c. 人種・性・社会的身分などに関係なら、基本的人権が尊重されるべきであることを知っている。 【思考力、判断力、表現前際にまとめて話すことができる。 b. 本文各Partの内容を簡潔にまとができる。 b. 本文各Partの内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができる。 c. 知覚動詞+0+動詞の原形/~ingの構文を用いて、正しい文を書くこ人を誘う表現」として、Howabout~ing?を用いて、場面に合ったやり取りをすることができる。 d. 「人を誘う表現」として、Howabout~ing?を用いて、場面に合ったやり取りをすること間性等】 a. マンデラとスプリングボックスの挑戦やアパルトへイトについる。 し、ペア・ワークなどのコニーケーション活動に積極的に参加しまっとしている。	<ul> <li>・指導事項 知覚動詞を用いた文 人を誘う表現</li> <li>・教材 教科書、ワークブック</li> </ul>	0	0	0	C		【知識及び技能】 a. 知覚動詞+0+動詞の原形/~ingの意味や用法を理解できた。 b. アパルトへイトがどのようなものであるかと、その撤廃までの経緯について知ることができた。 c. 人種・性・社会的身分などに関係なく、基本的人権が尊重されるべきであることを知ることができた。 【思考力、判断力、表現力等】 a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめて話すことができた。 b. 本文各Partの内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができた。 c. 知覚動詞+0+動詞の原形/~ingの構文を用いて、正しい文を書くことができた。 d. 「人を誘う表現」として、How about~ing?を用いて、場面に合ったやり取りをすることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 a. マンデラとスプリングボックスの挑戦やアパルトへイトについて関心を持ち、積極的に発言しようとしたり、聞こうとしたりした。 b. ベア・ワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加した。
3 学期	L 単元 Lesso23~24 to the World 【知識及び技能】 a. 仮定法過去/仮定法過去完了の基本的な用法を理解している。 b. 日本の町工場が開発した製品 で、世界で評価されているものにつ	・指導事項 仮定法過去、仮定法過去完了 人に情報を伝える表現 ・教材 教科書、ワークブック						【知識及び技能】 a. 仮定法過去/仮定法過去完了の基本的な 用法を理解できた。 b. 日本の町工場が開発した製品で、世界で評価されているものについて、ほかにど のようなものがあるかを知ることができ た。

いて、はかにどのようなものがあるかを知っている。  c. 世界中で使われている日本製品にはどのようなものがあるかについて知っている。 【思考力、判断力、表現力等】  a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめて話すことができる。 b. 本文各Partの内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができる。 c. 仮定法過去/仮定法過去完了の基本的な用法を用いて、正しい文を書くことができる。 d. 「人に情報を伝える表現」として、According to ~を用いて、場面に合ったやり取りをすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】  a. 日本の工場のものづくり精神や高度な工業技術について関心を持ち、積極的に発言しようとしたり、関こうとしたりしている。  b. ペア・ワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加しようとしている。	0	0	0			c. 世界中で使われている日本製品にはどのようなものがあるかについて知ることができた。 【思考力、判断力、表現力等】 a. 本文各Partの内容を簡潔にまとめて話すことができた。 b. 本文各Partの内容に関連して、自分の意見を簡潔に話す/書くことができた。 c. 仮定法過去/仮定法過去完了の基本的な用法を用いて、正しい文を書くことができた。 d. 「人に情報を伝える表現」として、According to ~を用いて、場面に合ったやり取りをすることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 a. 日本の工場のものづくり精神や高度な工業技術について関心を持ち、積極的に発言しようとしたり、聞こうとしたりしていた。 b. ペア・ワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加した。	0	0	0	13
定期考査	0	0	0	0	0		0	0	0	1

#### 高等学校 令和5年度(3学年用) 教科 家庭 科目 フードデザイン

教 科: 家庭 科 目: フードデザイン 単位数: 4 単位

対象学年組:第 3 学年 1 組~ 2 組

【知識及び技能】

栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディ ネートなどについて体系的・系統的に理解する を

使用教科書: ((教育図書) フードデザイン cooking&arrangement

の目標: 家庭生活に関わる産業の見方・考え方を培わせる。実践的・体験的な学習活動を通して、 教科 家庭

生活の質の向上と社会の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。

)

【学びに向かう力、人間性等】

食生活の充実向上を目指して自ら学び、食生 活の総合的なデザインと食育の推進に主体的

かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。

【知 識 及 び 技 能】 食生活の各分野について体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 食生活に関する課題を発見し、職業人に求められる、合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かうカ、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、より良い社会の構築を目指して自ら学び、生活の質の向上

【思考力、判断力、表現力等】

食生活の現状から食生活全般に関する課題

て合理的かつ創造的に解決に向けて考察し、

と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 フードデザイン

の目標: 習得した知識と技術を活用し、食生活を総合的にデザインするとともに、家庭や地域において 食育を推進に主体的に取り組むことができる資質・能力を育成すること。

		工夫する。					
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	第1章 健康と食生活 食事の意義と役割 食を取り着く現状 【知識及び技能】 食事の意義と役割について理解するととも に、食習慣、栄養状態、食料事情、などの視点 する情報を収集・整理できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・健康な食生活の在り方に関する課題を発見 し、その解決に向けて望ましい食習慣の形成者 と意見交換しながら考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・健康な良生活について自ら学び、食生活を総 合的にデザインするために主体的かつ協働的に 取り組もうとしている。	・健康と食生活【教科書、ワークシート、端末、調理実習】	【知識・技能】 ・食事の意義と役割及び我が国の食生活の現状について理解しているか。(定期試験/ワークシート/行動観察) 【思考・判断・表現】・健康な免生活の在り方に関する課題を発見し、その解決に向けて望ましい食習慣の形成や環境に配慮した食生活の工夫などについて他者と意見交換しながら考え、工夫しているか。(定期試験/ワークシート/行動観察) 【主体的に学習に取り組む態度】・健康と食生活について自ち学び、食生活を総合的にデザインするために主体的かつ協働的に取り組もうとしているか。(ワークシート/行動観察)	0	0	0	28
1 学期	Vering XX O 1X Hz I		【知識・技能】 ・基本となる栄養素の炭水化物、脂質、たんぱく質、ビタミン、無機質などの機能と代謝及び水の生理的機能について理解しているか。(定期試験/ワークシート/行動観察)・食品の性質及び調理による成分の変化について理解しているか。(定期試験/ワークシート/行動観察) 【思考・判断・表現】・食品の性質と目的に応じた加工、貯蔵の方法や食品の表示について、目的に応じた適切な選択ができるか。(定期試験/ワークシート/行動観察) 【主体的に学習に取り組む態度】・食品の特徴や調理上の性質の変化など、講義で学んだことを調理の学習と相互に関連を図りながら理解し、実際、調理で生かそうと考え、工夫しているか。(ワークシート/行動観察)	0	0	0	36
	定期試験			0	0		1
2	第2章 栄養素・食品の特徴 食品の特徴 食品加工の目的 【知識及び技能】 ・基本となる栄養素の炭水化物、脂質、たんばく質、ビタミン、無機質などの機能と代謝及び水の生理的機能について理解している。・食品の特徴、調理上の性質及び調理による成分の変化について理解している。 ・食品の特徴、調理上ので近れて、貯蔵の方法や食品の表宗について、目的に応じた加工、貯蔵の方法や食品の表宗について、目的に応じた適切な選【学びに向かう力、人間性等】 ・食品の特徴や調理上の性質の変化など、講義でないの事件後や調理との性質ととを調理の学習と相互に関連を図りながら理解している。		【知識・技能】 ・基本となる栄養素の炭水化物、脂質、たんぱく質、ビタミン、無機質などの機能と代謝及び水の生理的機能について理解しているか。(定期試験/ワークシート/行動観察)・食品の特徴、調理上の性質及び調理による成分の変化について理解しているか。(定期試験/ワークシート/行動観察)【思考・判断・表現】・食品の性質と目的に応じた加工、貯蔵の方法や食品の表示について、目的に応じた適切な選択ができるか。(定期試験/ワークシート/行動観察)【主体的に学習に取り組む態度】 ・食品の特徴や調理上の性質の変化など、講義で学んだことを調理の学習と相互に関連を図りながら理解し、実際の調理で生かそうと考え、工夫しているか。(行動観察)	0	0	0	40
2 学期	第3章 調理と献立 様式別の献立と調理・食卓作法 食文化を見つめる テーブルコーディネート 【知識及び技能】 食事のテーマに応じた調理、テーブルコーディ ネートと各料理のサービス方法について、基本 かた考え方や方法を理解し、関連する技術を身 に付けている。 「昼夢のサービス方法について、基本 に付けている。 「最初力、判断力、表現力等」 ・日常の食中の工夫をはじめ、代表的な料理様 式とともに自らの食生活をより豊かにするため に考え、工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・世界の食文化について自ら学び、食文化の伝 来と創造に主体的かつ共同的に取り組もうとしている。		【知識・技能】 ・我が国や世界の食文化を理解するとともに、食事のテーマに応じた調理、テーブルコーディネートと各料理のサービス方法について、基本的な考え方や方法を理解し、関連する技術を身に付けているか。 【思考・判断・表現】 ・日常の食卓の工夫をはじめ、代表的な料理様式とともに自らの食生活をより豊かにするために考え、工夫しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・世界の食文化について自ら学び、食文化の伝承と創造に主体的かつ共同的に取り組もうとしているか。	0	0	0	40
	定期考査			0	0		1

3 学	調理実習第3章 調理と献立 様式別の献立と調理・食卓作法 食文化を見つめる テーブルコーディネート 【知識及び技能】 (食事のテーマに応じた調理、テーブルコーディ ネートと各料理のサービス方法について、基本 に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日常の食卓の工夫をはじめ、代表的な料理様 に考え、工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・世界の食文化について自ら学び、食文化の伝 来と創造に主体的かつ共同的に取り組もうとしている。	調理実	【知識・技能】 ・我が国や世界の食文化を理解するとともに、食事のテーマに応じた期間、テーブルコーディネートと各料理のサービス方法について、基本的な考え方や方法を理解し、関連する技術を身に付けているか。 【思考・判断・表現】 ・日常の食卓の工夫をはじめ、代表的な料理様式とともに自らの食生活をより豊かにするために考え、工夫しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・世界の食文化について自ら学び、食文化の伝承と創造に主体的かつ共同的に取り組もうとしているか。	0	0	0	22
							合計
							140

高等学校 令和5年度(3学年用) 教科 家庭 科目 課題研究

単位数: 2 単位 科 目: 課題研究 教 科: 家庭

対象学年組:第 3 学年 1 組~ 2 組

使用教科書: ( なし )

教科 家庭 の目標: 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、 実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と恊働し、よりよい社 会の構築に向けて、 男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを目指す。

科目 課題研究 の目標:

【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 実際の場面に応用発展できる転移性のある確か な知識と技術を身につけ、深化し、総合化させ るよう、問題解決の能力や創造的な学習態度 る力を身につけさせる。 【学びに向かうカ、人間性等】 課題解決の方策を検討し、計画を立て、主体 的に実践できる力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	オリエンテーション 課題 (テーマ) の設定と実施計画、 研究、中間発表 ①子育で支援②インクルーシでで支援②幼児英語④地域との一連携業 ③幼児英語④地域との一連接業 ③幼児英語④地域との一連接業 ⑥テントレプレナーる 「知識がな技能」 課題の将の進め方について理を設 「思題の将来について理を設 」といって、 は会のでは、に対かりやて、とめし、 は会のた、一マ設にのかいってきる。 【思したするのでは、 としたで、とし、 としたで、とめし、 は主体とのに一学るを度 、 【記をを対し、一、とのし、 は会のに、 とのし、 は主体に、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	<ul> <li>・1年間の授業の流れ</li> <li>・課題研究の進め方(例:記録を取る等)</li> <li>・課題の設定</li> <li>・課題解決に向けての計画</li> <li>・研究と中間発表</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	【知識及び技能】 課題研究の進め方について理解し、自らの将来につなる課題を設定できる。 【思考力、判断力、表現力等】 設定した課題の解決に向けて、実施計画を立て、わかりやすくまとめることができる。 て、わかりやすくまと考慮し、適切なテーマ設定ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題を解決するために、自ら学び、生活産業の発展や社会貢献に主体的かり協働的会会な必要し、かかりやすい資料をまとめたり、発表をすることができる。	0	0	0	28
2 学期	研究、中間発表 【知識及び技能】 課題解決に向けた学びを深める。 【思考力、判断力、表現力等】 実施する中で定期的に計画を見直 し、新たな計画を設定する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を解決する力の向上を目指して貢 計に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	<ul> <li>・課題解決に向けての実施</li> <li>・研究と中間発表</li> <li>・一人一台端末の活用</li> </ul>	【知識及び技能】 課題解決に向けた学びを深められている。 【思考力、判断力、表現力等】 実施する中で定期的に計画を見直し、新たな計画を設定し、実施することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、生活産業の発展や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組んでいる。また、記録やゼミ別発表会などで、わかりやすい資料をまとめたり、発表をすることができる。	0	0	0	32
3 学期	研究成果のまとめ、発表 【知識・技能】 パワーポイントの使い方、レポート のまとめ方、わかりやすいプレゼン の方法を学ぶ 【思考・判断・表現】 研究成果について、パワーポイント を用いて、他者に伝わりやすくまと の高とで学習に取り組む態度】 研究成果について、パワーポイントと める。 【主体的に学習に取り組む態度】 研究成果について、パワやすくまと める。	成 ・レポートA410枚	研究成果のまとめ、発表 【知識・技能】 パワーポイントの使い方、レポートのまとめ 方、わかりやすいプレゼンの方法を学んでい る。 【思考・判断・表現】 研究成果について、パワーポイントを用い て、他者に伝わりやすくまとめることができ る。 【主体的に学習に取り組む態度】 研究成果について、パワーポイントを用い て、他者に伝わりやすくまとめ、他者の発表 をもとに自らの学びの向上につなげている。	0	0	0	10 合計 70

#### 高等学校 令和5年度(3学年用) 教科 家庭 科目 子ども文化

単位数: 2 単位 科 目: 子ども文化 教 科: 家庭

対象学年組:第 3 学年 1 組~ 2 組

使用教科書: (教育図書 子ども文化 )

の目標:

人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭・衣食住、消費や環境などについて生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。 【知識及び技能】

家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し実践を評価・改善し考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど生涯を見通して課題を解決する力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】

様々な人と恊働し、よりよい社会の構築に向けて地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域 の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。 【学びに向かう力、人間性等】

科目 子ども文化 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
子どもと遊び、子どもの表現活動、児童文化財	造形表現活動、言語表現活動、音楽・身体表	子どもに豊かで健康的な文化環境を与えるこ
など、子ども文化に関する知識と技術を習得さ	現活動、情報手段などを活用した活動につい	とに関心をもち、積極的に子どもとかかわる
せる	て、児童文化財の製作等ができるようにする	ことのできる能力と実践的な態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
学	第1年を大きないた。 第1年を表している。 第2年を表している。	・1年間の授業の流れ 〈音楽・身体表現活動〉作曲、ピ アノの弾き歌い、音楽理 (言語活動〉絵本の読み聞かせく 情報手段などを活用した活動〉 情報手段を活用した活動の意義について考える。	【知識及び技能】子どもが主体となって創作する遊びや歌、言葉などを総合した子ど子ども文化の重要性について理解情や感息。まままえて、また、大てくるものであることを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】子どものための文化活動、児童文化財、児童文化財施設などについて意義に歌いいて考えることができる。また、手行ともの文化の言義に歌いたりすることができる。また、手行ともの変化に対したりまる。ともに歌ったり、て考えることができる。ともに歌ったりなどに対した。ともに歌ったり、て考えることができる。ともに歌ったり、て考えることができる。とがでは、子どもの遊びの環境が変化する中でそれらの問題の課題解決が行え表現の変化に伴い、子どもの遺解が決が行えままた、子どもの想像力を育てることができる。	0	0	0	14
	第3章子どもと表現活動 第4章子どもと文学 【知識及び技能】遊びの意義と重要 性及び遊びの種類と発達とのかかども りについて理解する。また、子は切り離すことと身体を動かたことを理解する。 は歌うことと身体を動かことを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】伝承 遊びや安全、丈夫で壊れにくい制作 る。 【主体的に学習に取り組む態度】遊びの条件を満たした遊具を考案し制作 する。 【主体的に学習に取り組む態度」遊びの指導、が変など、が変など、が変など、が変など、であためになど を期等を	<音楽・身体活動>ピアノの連弾、弾き歌い、音楽理論 〈言語活動〉素話 〈言語活動〉書の遊びと今の遊びについて、社会の変化とともに考える。	【知識及び技能】遊びの意義と重要性及び遊びの種類と発達とのかかわりについて理解できる。また、子どもは歌うことと身体を動かすことは切り離すことができないことを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】伝承遊びや安全、丈夫で壊れにくいなどの条件を満たした遊具を考案し制作する。 【主体的に学習に取り組む態度】遊具の遊び方や与え方、遊び場、遊びの指導、音楽とのかかわりやリズム感など、創造性を育てるためになどを具体的に考えることができる。	0	0	0	14
	家庭科技術検定保育検定(言語、看護、音楽2 級)			0	0		1
	第4章子どもと文学 第5章現代の子供の生活と文化 【知識及び技能】お話の効の用とし 関をを楽しむるいまで、 「知識及りかと思言語。 「大塚を変染しむる、 「大塚を変染しむする。 「大塚を変染しむする。 「大塚を変楽しむする。 「大塚では、 「な、 「な、 「な、 「な、 「な、 「な、 「な、 「な、 「、 「な、 「な	<音楽・身体活動>朗読の作曲、 弾き歌い、音楽理論 〈言語活動〉絵本の読み聞かせ、 人形劇 人子ども文化を支える場〉児童文 化施設について考える。	【知識及び技能】お話の効用として、想像力と思考力を育てる、人間関係を深める、言葉の力や話を聞くことを楽しむ、読書へ。また、子どものために作られた歌について理解できる。といる。また、もる。 また、楽器演奏や伴奏ができるようになる。また、楽器演のCDやDVDなどに触れ、大人一緒に音楽を楽しむことの大切さについて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】絵本や紙芝居等を自作することができる。また、作詞作曲を行うことができる。	0	0	0	14
	第6章子ども文化を支える場 【知識及び技能】絵を描くには発達の順序があることを理解する。また、テレビやインターネットなどの情報手段を活用した活動の意義を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】情報手段の適切な活用について考える。 また、子ども文化実習についての感動なた子ども文化、子どもの心の感動がが同動力となった。	<言語活動>ペープサート、パネルシアター、ストーリーテリング <子ども文化を支える場>子どものための各種施設(商業目的で提供されている子どものための施設など)について考える。	【知識及び技能】絵を描くには発達の順序があることを理解できる。また、テレビやインターネットなどの情報手段を活用した活動の意義を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】情報手段の適切な活用について考えることができる。また、子ども文化実習についての製作を行う。 【主体的に学習に取り組む態度】子どもの遊びや教育機会を発展させる活用の仕方について考え、発表できる。			0	

	のかられている。 りすることの大切さや表現活動を通して個々の創造性を育てていくことの大切さを考える。 【主体的に学習に取り組む態度】子どもの遊びや教育機会を発展させる活用の仕方について考え、発表する。 ば画表現の種類や特徴について、発表する。 ボース・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・			O	O	O	16
	家庭科技術検定保育検定(言語、看護、音楽1 級)			0	0		1
3 学 期	第7章 子ども文化実習 【知識・技能】子どもと遊び、表現 活動、児童文化財に関する知識と技 術を実践的に活用できるようにす る。 【思考・判断・表現】交流体験にお いて、子どもの発達段階に応じた表 現活動企画を考える。 【主体的に学習に取り組む態度】交 を行う。	の交流を体験する。	【知識・技能】子どもと遊び、表現活動、児童文化財に関する知識と技術を実践的に活用できる。 【思考・判断・表現】子どもたちが楽しめる表現活動企画を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 参加をためらう子どもたちに声掛けをするなど、全体を見ながら積極的に交流できる。	0	0	0	10 合計 70

#### 高等学校 令和5年度(3学年用) 教科 家庭 科目 食と健康

科 目: 食と健康 単位 2 単位 教 科: 家庭

対象学年組:第 3学年 1組~ 2 組

使用教科書: ( なし )

教科 家庭 の目標:

【知 識 及 び 技 能】 家庭生活の各分野について体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 家庭生活に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

職業生活を営むために必要な豊かな人間性を育む。自ら学び、生活の質の向上と社会の発展に主体的かつ協働的 【学びに向かう力、人間性等】

に取り組む態度を養う。

科目 食と健康 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
 栄養学の基礎を学習し、食を通して社会に望ま	3 1 2 30 1 7 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	演習を交え、基本的な技法を用いて症例・
		事例を体験展開し、社会に適応出来る能力 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (
	性・状況把握力・規律性・ストレスコント	
	ロールカ)を養う。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	<ul><li>・「食と健康」ガイダンス</li><li>・パーソナリティの確認</li><li>・食べること</li><li>・自己実現への道</li></ul>	「食と健康」ガイダンス 自身のパーソナリティを認知する。 自分にとって、食べることはどんな位置 (意味) づけか、人に伝えられるようにま とめる。 やりたい事を見つけ、追い求める姿勢を求 め、対話しながら指導する。	【知識】 小テスト 【思考】 レポート 振り返りシート 発表 【意欲】 チームワーク コミュニケーション	0	0	0	6
1 学	・共感・感動した体験の共有	人生で一番感動や共感をした、映画、テレビ、本など何でもよいので、共感・感動した内容をまとめる	【知識】小テスト 【思考】レポート 振り返りシート 発表 【意欲】チームワーク コミュニケーション	0	0	0	4
期	・職業倫理 ・行動変容とは ・行動変容に必要な技法	職業倫理(職業人としての姿勢や態度)を 学ぶ	【知識】小テスト	0	0	0	4
	<ul><li>・アサーション</li><li>・仲間作り</li><li>・食品や栄養の問題点</li><li>・有名人の勝負飯・おやつ</li></ul>	アサーションを深める講義を展開する。 藤井壮太 井上尚等有名人の栄養管理を例 として食生活の重要性について学ぶ。	【知識】 小テスト 【思考】 レポート 振り返りシート 発表 【意欲】 チームワーク コミュニケーション	0	0	0	10
	定期考査			0	0		1
2	<ul><li>・病気の予防</li><li>・病気の治療について</li><li>・フレイル・サルコペニア</li><li>・アスリートのスポーツ栄養</li><li>・一般人のスポーツ栄養</li></ul>	低栄養のヘルスカウンセリングを通して基本姿勢と技法を学ぶ。 仮チームで症例実習に臨む。全力で考える。 スポーツ栄養学について、アスリートと一般人について分けて講義をする。	【知識】 小テスト 【思考】 レポート 振り返りシート 発表 【意欲】 チームワーク コミュニケーション	0	0	0	14
学期	・公務員の食と健康 ・乳幼児期の食と健康 ・防災時の食と健康 ・防災食・フードロス ・サブリメント ・起業家・フリーランスの食傾向 ・給食会社	様々な生活様式や成長過程を想定して、と のの食の傾向から健康課題について研究、 実践例などを紹介する 保育栄養系については乳幼児期の食と健康 にフォーカスする。特に歯や骨の成長との 関連について学ぶ。	【知識】 小テスト 【思考】 レポート 振り返りシート 発表 【意欲】 チームワーク コミュニケーション	0	0	0	16
	定期考査			0	0		1
3 学	フードスペシャリスト フードコーディネーター 雑煮・日本料理の最高傑作 栄養学のスペシャリストへ	栄養系のスペシャリストとフードコーディネーターについて学ぶ。 日本料理の素晴らしさについて雑煮を題材にして学ぶ。 栄養学のスペシャリストを目指すことを支援するメッセージを伝える。	【思考】レポート 振り返りシート 発表	0	0	0	10
	卒業成果発表会準備等	学んだことをまとめるための時間を 与え、その内容について対話をする。	【思考力】プレゼンの手法 【意欲】行事に対する取り 組みの姿勢	0	0	0	4
			•		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	合計	70

高等学校 令和5年度(3学年用) 教科 家庭 科目 生活と福祉(実践)

教 科: 家庭 科 目: 生活と福祉(実践) 単位数: 2 単位

対象学年組:第 3 学年 1 組~ 2 組

使用教科書: (生活と福祉 )

教科 家庭 の目標:

人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、加速・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家 【知 識 及 び 技 能 】族・家庭・衣食住、消費や環境などについて生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し実践を評価・改善し考察したことを科学 別がな根拠に基づいて論理的に表現するなど生涯を見通して課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の 生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目 生活と福祉(実践) の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
高齢者の健康と生活、介護などについて体系		家族や地域の人々の豊かな生活の実現を目指
的・系統的に理解するとともに関連する技術・		して自ら学び、高齢者の生活の質の向上と自立
情報を収集・整理することができる。	担う職業人として合理的かつ創造的に解決に  向けて考察し、工夫する。	生活支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を
	門りて有奈し、工大する。	タにかりる。
		3101317-08

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学	3章 高齢者の自立生活支援 【知識及び技能】 自立生活支援と高齢者介護について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他をと意見交換し学びを深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自らを客観的に振り返る。3章 高齢者の自立生活支援		【知識・技能】 ワークシート・実習 【思考・判断・表現】 発問、発表・実習 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート	0	0	0	12
子期	5章 介護・看護の実習と生活支援 【知識及び技能】 介護・看護の実際について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他をと意見交換し学びを深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自らを客観的に振り返る。		【知識・技能】 ワークシート・実習 【思考・判断・表現】 発問、発表・実習 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート	0	0	0	12
2	2章 高齢化の現状と高齢者の特徴 【知識及び技能】 高齢化の現状や高齢者の心身の特徴、生活課題 の施策について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを深めよう としている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自らを客観的 に振り返る。	・サロン活動について 【教科書、ワークシート、端末】	【知識・技能】 ワークシート・実習 【思考・判断・表現】 発問、発表・実習 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート	0	0	0	12
学期	1章 人の一生と生活・健康 【知識及び技能】 健康のの概念やライフステージにおける健康管理について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自らを客観的に振り返る。	・オレンジリボン運動について 【教科書、ワークシート、端末】	【知識・技能】 ワークシート・実習 【思考・判断・表現】 発問、発表・実習 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート	0	0	0	14
学	2章 高齢化の現状と高齢者の特徴 【知識及び技能】 高齢化の現状や高齢者の心身の特徴、生活課題 の施策について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを深めよう としている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自らを客観的 に振り返る。	・認知症について 【教科書、ワークシート、端末】	【知識・技能】 ワークシート・実習 【思考・判断・表現】 発問、発表・実習 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート	0	0	0	20
							合計 70

# 高等学校 令和5年度(3学年用) 教科 家庭 科目 栄養

教科: 家庭 科目: 栄養 単位数: 1 単位

対象学年組:第 3 学年 3 組

使用教科書: (全国調理師養成施設協会 2食品と栄養の特性

教科 家庭 の目標:

【知 識 及 び 技 能 】生活産業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】生活産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、より良い社会の構築を目指して自ら学び、生活の質の向上 と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

)

科目 栄養 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
栄養素の機能と代謝、各ライフステージに おける栄養、労働・スポーツと栄養などについ て体系的・系統的に理解するとともに関連する 技術・情報を収集・整理することができる。	食生活の現状から栄養に関する課題を発見し、 栄養面で健康の保持増進を担う職業人として合 理的かつ創造的に解決に向けて考察し、工夫す る。	

本名ルギー代謝と食事報収基準は		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
ライフステージと栄養	学期	【知識及び技能】 エネルギー代謝と食事摂取基準 はよびでは、 大ででは、 大ででは、 大ででは、 大ででは、 大ででは、 大ででは、 大のでは、 たっと、 たっと、 たっと、 は、 たっと、 たっと、 たっと、 たっと、 たっと、 は、 たっと、 たっと、 たっと、 たっと、 たっと、 たっと、 たっと、 たっと	<ul><li>・プリント</li><li>・食品成分表</li><li>・電卓</li></ul>	【知識及び技能】 エネルギー代謝と食事摂取基準および献立 作成について理解し、関連する情報を集約・ 整理している。 【思考力、判断力、表現力等】 食事摂取基準や食品群別摂取量等を用いた 献立作成を行い、健康増進のための食事の栄 養バランスの課題を見出し、改善策を考え実 践し、考察したことを論理的に表現しようと している。 【学びに向かう力、人間性等】 食事の栄養バランスへの関心を高め、健康 の保持増進のために主体的かつ協働的に取り			0	
「知識及び技能]	$\vdash$	7-771 4-1	  - 数科書	ライフステージと栄養	O	O		2
一次	2 学期	【知識及び技能】 各ラインででは、関連できる。 特性にいれて、というでは、はいうでは、はいいうでは、はいいうでは、はいいうでは、はいいうでは、はいいうでは、はいいうでは、はいいうでは、はいいうでは、はいいうでは、はいいうでは、はいいうでは、はいいうでは、はいいうでは、はいいうでは、はいいいうでは、はいいうでは、はいいうでは、はいいうでは、はいいいうでは、はいいいうでは、はいいいうでは、はいいいいは、はいいいいがは、はいいいは、はいいいは、はいいいは、はいいいは、はいいいは、はいいは、はいいは、はいいは、はいいは、はいは、はいは、はいはいはいは、はいはいは、はいはいはいはいはいはいはいは、はい	<ul><li>・プリント</li><li>・食品成分表</li><li>・電卓</li></ul>	【知識及び技能】 各ライフステージの特徴と栄養の特性について理解し、関連する情報を集約・整理している。 【思考力、判断力、表現力等】 各ライフステージの食事摂取基準や食品群別摂取量等を用いた献立作成を行い、健康増進のための食事の栄養バランスの課題を見出し、改善策を考え実践し、考察したことを論理的に表明しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 各ライフステージの栄養の特性への関心を高め、健康の保持増進に主体的かつ協働的に	0	0	0	16
【知識及び技能】 病態と栄養の関係を理解し、関連する情報を集約・整理することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 各病態に適した献立作成を行い、食事療法における献立や調理についての課題を見出し、改善策を考え実践し、考察したことを論理的に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 病態に適した食事療法への関心を高め、健康の保持増進や病態改善に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 各病態に適した献立作成を行い、食事療法における献立や調理についての課題を見出し、改善策を考え実践し、考察したことを論理的に表現しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 病態に適した食事療法への関心を高め、健康の保持増進や病態改善に主体的かつ協働的に取り組むうとしている。		定期考査			0	0		2
	学期	【知識及び技能】 病態と栄養の関係を理解し、関連で 表情報を集約・整理することが養生 を集約・整理する。 【思考力、制断力、表現力等】 、電子病態におけれて、 、電子がにおけるでで、 、電子がでででででででででででででででででででででででででででででででででででで	<ul><li>・プリント</li><li>・食品成分表</li><li>・電卓</li></ul>	【知識及び技能】 病態と栄養の関係を理解し、関連する情報 を集約・整理している。 【思考力、判断力、表現力等】 各病態に適した献立作成を行い、食事療法 における献立や調理についての課題を見出 し、改善策を考え実践し、考察したことを論 理的に表現しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 病態に適した食事療法への関心を高め、健 康の保持増進や病態改善に主体的かつ協働的	0	0	0	4
<b>正</b> 期考査		定期考査			0	0		

高等学校 令和5年度(3学年用) 教科

科目 課題研究

単位数: 2 単位 科 目: 課題研究 教 科: 家庭

対象学年組:第 3 学年 3 組

使用教科書: ( )

教科 の目標: 家庭の生活の関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、

生活の質の向上と社会の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。

【知 識 及 び 技 能】生活産業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】生活産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養 【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、より良い社会の構築を目指して自ら学び、生活の質の向上

と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 課題研究

の目標:

	【知識及び技能】		【思考力、判断	力、表現力等】	【学びに向え	かうカ、	人間性	Ė等】	
角	E活産業の各分野について体系的・3 なするとともに相互に関連付けられたこつけるようにする	-技術を身		策を探究し、科学的な	課題を解決する力の び、生活産業の発展 協働的に取り組む態	や社会	貢献に		
	単元の具体的な指導目標		指導項目·内容	評価規	建	知	思	態	配当時数

	単元の具体的な指導目標	指導項目·内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	グルーブ別課題研究 日本料理、西洋料理、中国料理、和菓子、洋菓子、パン、ウエディング・理解 する 個人課題研究 コンテストや資格取得に挑戦する 【知識及び技能】 ①テーマ ②献立作成 ③調理 ④おテーブルコーディネートの今までの学びを生かすことが出来る 【思舞族決に向けて、理解を深める 【学びに向かう力、人間性等】 課題解決するために、自ら学び、調理業界の発展や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む力を身に付ける	・コックコート一式	【知識・技能】 課題研究の進め方について理解し、自らの課題を設定できる。 【思考・判断・表現】 設定した課題の解決に向けて、実施計画を立て、わかりやすくまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら課題を考え、課題解決に向けてテーマを設けることが出来る	0	0	0	30
2 学期	グループ別課題研究 日本料理、西洋料理、中国料理の各じジャンルに分かれ、ビュッフェスタイルの料理について実践的に研究し理解する個人課題研究 国人課題研究コンテストや資格取得に挑戦する【知識及び技能】①テーマ②献立作成③調理④おテーブルコーディネートの今までの学びを生かすことが出来る【思考力、判断力、表現力等】課題解決に向けて、理解を深める【学びに向かう力、人間性等】課題解決に向けて、現解を深める【学びに向かう力、人間性等】課題を解決するために、自ら学び、調理業界の発展や社会貢献に主体けるの協働的に取り組む力を身に付ける		【知識・技能】 課題研究の進め方について理解し、自らの課題 を設定できる。 【思考・判断・表現】 設定した課題の解決に向けて、実施計画を立て、 わかりやすくまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら課題を考え、課題解決に向けてテーマを設け ることが出来る	0	0	0	30
3 学期	研究成果のまとめ、発表(卒業制作展) 日本料理・西洋料理・中国料理 【知識及び技能】 喫食者が食べやすいビュッフェ料理を作るためにの工夫を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 喫食者が喜ぶビュッフェ料理にはどのようなものがあるか理解する 【学びに向かう力、人間性等】 喫食者が喜ぶ料理にはどのようなエ夫があるかを知り、テーブルコーディ	・一人20人分の料理を三品制作し、 喫食者におもてなしを行う ・コックコートー式	【知識及び技能】 ビュッフェ料理の献立構成を理解し、一口サイズやフィンガーフードを作ることが出来る 【思考力、判断力、表現力等】 喫食者が喜ぶビュッフェ料理を作ることが出来る 【学びに向かう力、人間性等】 喫食者をもてなすにはどのような方法があるのかを知り、表現することが出来る	0	0	0	10
	ネートを通し表現する						合計 70

高等学校 令和5年度(3学年用) 教科 家庭 科目 公衆衛生

 教 科: 家庭
 科 目: 公衆衛生
 単位数: 2 単位

対象学年組:第 3 学年 3 組~ 組 使用教科書: (新調理師養成全書 1 食生活と健康 ) 教科 家庭 の目標:

【 知 識 及 び 技 能 】生活産業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】生活産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、より良い社会の構築を目指して自ら学び、生活の質の向上

と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 公衆衛生 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
集団の健康と公衆衛生などについて体系的に ・系統的に理解するとともに、関連する技術・情報 を収集・整理することができる。	と健康づくりを担う職業人として合理的かつ創	疾病の予防や健康づくりを目指して自ら学び、 公衆衛生の発展に自ら学び、創造的な調理に主 体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。

Γ	単元の具体的な指導目標	指導項目·内容	評価規準	知	思	態	配当
1	食生活と疾病 【知識及び技能】 現代の疾病のあり方は多様化している。健康の概念を理解しそれに必要な食生活について理解する 【思考・判断・表現】 日本の健康水準と世界を比べ、目指すべき健康について考えを深める 【主体的に学習に取り組む態度】 健康でいるためにはどうしたらよいか、健康寿命の大切さとヘルスプロモーションについて考える		【知識・技能】 健康の概念を理解し、実践できている 【思考・判断・表現】 日本が長寿国であり、目指すべき健康の姿を理解している 【主体的に学習に取り組む態度】 健康でいるためにはどうしたらよいか、健康寿命の大切さとヘルスプロモーションについて理解している	0	0	0	5
	定期考査			0	0		1
<del>,</del>	明 【知識及び技能】 疾病の予防や、食と健康に関する法律に ついて理解する 【思考・判断・表現】 食と健康に関する法律が生活にどのよう に生かせるか考えを深める 【主体的に学習に取り組む態度】 調理師が健康づくりの実現にどのように関 われるか考える	教科書 調理師と健康づくりの関りについて理 解する。	【知識・技能】 食と健康に関する法律について理解している 【思考・判断・表現】 食と健康に関する法律が生活にどのように生か せるか理解している 【主体的に学習に取り組む態度】 調理師が健康づくりの実現にどのように関われる か理解している	0	0	0	13
	定期考査			0	0		1
	調理師と食育 【知識及び技能】 食育や食育教室について理解する 【思考・判断・表現】 食育における調理師のあり方を理解する 【主体的に学習に取り組む態度】 食育について、調理師としてどのようなこと を伝えていきたいか考える	教科書 食育教室を開催するための知識と技 術を習得する。	【知識・技能】 食育とは何か理解している 【思考・判断・表現】 食育教室を実践し、計画や実演の知識や技術を 習得している 【主体的に学習に取り組む態度】 食育について、調理師としてどのようなことを伝る か提案できる	0	0	0	24
ė	2 定期考査			0	0		1
	明 労働と健康 【知識及び技能】 労働災害が起きたときにどうしたら良いか理解する 【思考・判断・表現】 快適な調理施設環境に必要な条件とは何か考えを深める 【主体的に学習に取り組む態度】 労働作業環境について考える	教科書 労働災害時、自分には何が出来る か、出来る範囲を広げる。	【知識・技能】 労働災害とは何か理解している 【思考・判断・表現】 快適な調理施設環境に必要な条件を理解している 【主体的に学習に取り組む態度】 作業環境について考え、改善には何が必要か提 案出来る	0	0	0	16
	定期考査			0	0		1
Ė	環境と健康 【知識及び技能】 身近な日々の暮らしの中で、地球環境保護のためにできることを理解する 【思考・判断・表現】 循環型社会をつくるための問題点につい デて考えを深める 【主体的に学習に取り組む態度】 調理師として環境に配慮した料理をつくれ ばよいか考える	教科書 調理師と循環型社会の関りについて 理解する。	【知識・技能】 身近な日々の暮らしの中で、地球環境保護のためにできることを理解している 【思考・判断・表現】 循環型社会をつくるための問題点について理解している 【主体的に学習に取り組む態度】 調理師として環境に配慮した料理をつくればよいか理解している	0	0	0	7
	定期考査			0	0		1
							合計

高等学校 令和5年度(3学年用) 教科 家庭 科目 食品衛生

 教 科: 家庭
 科 目: 食品衛生
 単位数: 4
 単位

対象学年組:第 3 学年 3 組

使用教科書: ( 食品の安全と衛生 (全国調理師養成施設協会)

教科 家庭 の目標:

【 知 識 及 び 技 能 】生活産業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】生活産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養 【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、より良い社会の構築を目指して自ら学び、生活の質の向上

)

と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 食品衛生

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
食生活の安全と食品衛生対策について体系的・ 系統的に理解するとともに関連する技術を身に 付けるようにする	見し、安全で衛生的な食生活の実現を担う調	安全で衛生的な食生活の実現を目指して自ら 学び、食品衛生に主体的かつ協働的に取り組 む態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	食品衛生対策 【知識及び技能】 微生物や化学的作用による食品の 変質について理解し、関連する技術 を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 食品の鑑別や保管について課題を発 見し、その解決に向けて考察する 【学びに向かう力、人間性等】 食品の変質とその予防について自ら 学び、食品の鑑別や保管に主体的か つ協働的に取り組む	教科書 ワークシート 白衣、三角巾	食品衛生対策 【知識及び技能】 微生物や化学的作用による食品の変質について理解し、関連する技術を身に付けている 【思考力、判断力、表現力等】 食品の鑑別や保管について課題を発見し、その解決に向けて考察できる 【学びに向かう力、人間性等】 食品の鑑別や保管に主体的かつ協働的に取り組むことができる	0	0	0	30
	食品添加物 【知識及び技能】 食品添加物の使用目的、用途、使 用基準及び表示にちいて理解する 【思考力、判断力、表現力等】 食品添加物の利点、安全性及び食成 果うとの関わりについて課題を発し、その解決に向けて考察する 【学びに向かう力、人間性等】 食品添加物について自ら学び、食品 衛生に主体的かつ協働的に取り組む	教科書 ワークシート 白衣、三角巾	食品添加物 【知識及び技能】 食品添加物の使用目的、用途、使用基準及 び表示にちいて理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 食品添加物の利点、安全性及び食成果うとの 関わりについて課題を発見し、その解決に向 けて考察できる 【学びに向かう力、人間性等】 食品添加物について自ら学び、食品衛生に主 体的かつ協働的に取り組むことができる	0	0	0	20
	定期考査			0	0		1
	食生活の安全と食品安全行政 【知識及び技能】 食品安全行政の取り組みなど、食品安全に関わる対策について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 食品安全対策について課題を発見し、その解決に向けて考察する 【学びに向かう力、人間性等】 食生活の安全と食品安全行政について自ら学び、食品衛生に主体的かつ協働的に取り組む	教科書 ワークシート 白衣、三角巾	食生活の安全と食品安全行政 【知識及び技能】 食品安全行政の取り組みなど、食品安全に 関わる対策について理解している 【思考力、判断力、表現力等】 食品安全対策について課題を発見し、その 解決に向けて考察できる 【学びに向かう力、人間性等】 食生活の安全と食品安全行政について自ら 学び、食品衛生に主体的かつ協働的に取り組 むことができる	0	0	0	30
	定期考査			0	0		1
	食中毒とその予防(寄生虫) 【知識及び技能】 食中毒の特徴、症状、発生状況と 汚染源及びそれらの予防法を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 食中毒予防における課題を発見 し、その解決に向けて考察する 【学びに向かう力、人間性等】 食中毒とその予防について自ら学 び、食品衛生に主体的かつ協働的に 取り組む	教科書 ワークシート 白衣、三角巾	食中毒とその予防(寄生虫) 【知識及び技能】 食中毒の特徴、症状、発生状況と汚染源及 びそれらの予防法を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 食中毒予防における課題を発見し、その解 決に向けて考察できる 【学びに向かう力、人間性等】 食中毒とその予防について自ら学び、食品 衛生に主体的かつ協働的に取り組むことがで きる	0	0	0	30
2	定期考査			0	0		1
学 期	食物アレルギーとその予防 【知識及び技能】 食物アレルギーの特徴、症状、発 生状況と原因物質、発症について理 解し、関連する技術を身に付ける		食物アレルギーとその予防 【知識及び技能】 食物アレルギーの特徴、症状、発生状況と 原因物質、発症について理解し、関連する技 術を身に付けている				

	【思考力、判断力、表現力等】 食物アレルギーとその予防について自ら学び、食品衛生に主体的かつ協働的に取り組む 【学びに向かう力、人間性等】 食物アレルギーとその予防について自ら学び、食品衛生に主体的かつ 協働的に取り組む	【思考力、判断力、表現力等】 食物アレルギーとその予防について自ら学び、食品衛生に主体的かつ協働的に取り組むことができる 【学びに向かう力、人間性等】 食物アレルギーとその予防について自ら学び、食品衛生に主体的かつ協働的に取り組むことができる	0	0	0	16
	定期考査		0	0		1
3 学期	食品衛生対策 【知識及び技能】 微生物や化学的作用による食品の 変質について理解し、関連する技術 を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 食品の鑑別を保管について課題を発 見し、その解決に向けて考察する 【学びに向かう力、人間性等】 食品の変別をその予防についてもら でび、食品の鑑別や保管に主体的か つ協働的に取り組む	食品衛生対策 【知識及び技能】 微生物や化学的作用による食品の変質について理解し、関連する技術を身に付けている 【思考力、判断力、表現力等】 食品の鑑別や保管について課題を発見し、その解決に向けて考察できる 【学びに向かう力、人間性等】 食品の変質とその予防について自ら学び、食品の鑑別や保管に主体的かつ協働的に取り組むことができる				10 合計 140

高等学校 令和5年度(3学年用) 教科 家庭 科目 調理

 教 科: 家庭
 科 目: 調理
 単位数: 3 単位

対象学年組:第 3 学年 3 組

使用教科書: ( 全国調理師養成施設協会 5調理実習 レシピ集 生活学NaVi

教科 家庭 の目標: 家庭の生活の関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、

生活の質の向上と社会の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。

【知 識 及 び 技 能 】生活産業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】生活産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、より良い社会の構築を目指して自ら学び、生活の質の向上

と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 調理 の目標: 家庭の生活の関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、

創造的に調理し、健康の保持増進に寄与する食生活の充実向上を担う職業人として必要な資質

能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
調理の基礎、献立作成及び様式別調理など について体系的・系統的に理解するとともに、 関連する技術を身に付けるようにする。		調理の面から食生活の充実向上を目指して 自ら学び、創造的な調理に主体的かつ協働的に 取り組む態度を身に付ける。
	し、工夫する。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	日本料理(先付、お造り、焼き物、浸し物) 【知識及び技能】 地域や種類により料理の名称や造り 方の違いをを知る 【思考力、判断力、表現力等】 日本料理で使用する調理技術を習得する 【学びに向かう力、人間性等】 日本料理の種類と調理法の違いを理解し、現代における会席料理とうまみの関係を理解する	<ul><li>・教科書</li><li>・プリント</li><li>・コックコート一式</li><li>・包丁セット</li></ul>	中国料理 【知識・技能】 日本料理の魚の卸し方、包丁の扱い方を理解 している 【思考・判断・表現】 日本料理の技法を理解している 【主体的に学習に取り組む態度】 日本料理の献立構成を理解し、実際に献立を 組むことが出来る	0	0	0	15
1 学期	西洋料理(ヴィアンド) 【知識及び技能】 基本となる肉の下ごしらえ、調理器 具の使い方を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 西洋料理で使用する調理技術を習得 する 【学びに向かう力、人間性等】 西洋料理の種類と調理法の違いを理 解し、現代におけるフランス料理と ソースの関係を理解する	<ul><li>・教科書</li><li>・プリント</li><li>・コックコート一式</li><li>・包丁セット</li></ul>	西洋料理 【知識・技能】 西洋料理で用いる肉の種類と下ごしらえの方 法を理解している 【思考・判断・表現】 西洋料理の技法を理解している 【主体的に学習に取り組む態度】 フランス料理の献立構成を理解し、実際に献 立を組むことが出来る	0	0	0	10
	中国料理 (火烹法) 【知識及び技能】 放射熱を利用する調理法にはどのようなものがあるか理解する 【思考力、判断力、表現力等】 放射熱を利用する料理と火烹法の種類が結びつく知識を身に付ける 【学びに向かう力、人間性等】 中国料理の種類と調理例を通し、火烹法に用いた料理を理解する	・教科書 ・プリント ・コックコート一式 ・包丁セット	【知識・技能】 中国料理で用いる食材の種類と干貨の扱い方 を理解している 【思考・判断・表現】 中華料理の技法を理解している 【主体的に学習に取り組む態度】 中国料理の献立構成を理解し、実際に献立を 組むことが出来る	0	0	0	10
	定期考査			0	0		5
	日本料理(会席料理) 【知識及び技能】 地域や種類により料理の名称や造り 方の違いを知る 【思考力、判断力、表現力等】 日本料理で使用する調理技術を習得 する 【学びに向かう力、人間性等】 日本料理の種類と調理法の違いを理 解し、現代における会席料理とうま みの関係を理解する	<ul><li>・教科書</li><li>・プリント</li><li>・コックコート一式</li><li>・包丁セット</li></ul>	中国料理 【知識・技能】 日本料理の魚の卸し方、季節の食材の扱い方 を理解している 【思考・判断・表現】 日本料理の技法を理解している 【主体的に学習に取り組む態度】 日本料理の献立構成を理解し、実際に献立を 組むことが出来る	0	0	0	10
	西洋料理 (フルコース) 【知識及び技能】 基本となる肉の下ごしらえ、調理器 具の使い方を理解する 【思考力、判断力、表現力等】	・教科書 ・プリント ・コックコート一式 ・包丁セット	西洋料理 【知識・技能】 西洋料理で用いる肉の種類と下ごしらえの方 法を理解している 【思考・判断・表現】				

中国料理(薬膳料理)		四洋料理で使用する調理技術を習得する 【学びに向かう力、人間性等】 西洋料理の種類と調理法の違いを理解し、現代におけるフランス料理と ソースの関係を理解する		四洋料理の技法を理解している 【主体的に学習に取り組む態度】 フランス料理の献立構成を理解し、実際に献立を組むことが出来る	0	0	0	15
日本料理・西洋料理・中国料理 【知識及び技能】  「製造者が食べやすいビュッフェ料理 を作るためにの工夫を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 「製食者が喜ぶビュッフェ料理にはどのようなものがあるか理解する 【学びに向かう力、人間性等】 「製食者が喜ぶ料理にはどのような工夫があるかを知り、テーブルコーディネートを通し表現する を期考査  「実現考査  「知識及び技能】 「ビュッフェ料理の献立構成を理解し、一口サイズやフィンガーフードを作ることが出来る 「思考力、判断力、表現力等】 「製食者が喜ぶビュッフェ料理を作ることが出来る 「学びに向かう力、人間性等】 「製食者をもてなすにはどのような方法があるのかを知り、表現することが出来る  「実現考査  「実現考査  「実現考査  「対象を表現する」 「知識及び技能】 「ビュッフェ料理の献立構成を理解し、一口サイズやフィンガーフードを作ることが出来る 「思考力、判断力、表現力等】 「関考者」 「対象を表現する」 「知識及び技能】 「ビュッフェ料理の献立構成を理解し、一口サイズやフィンガーフードを作ることが出来る 「思考力、判断力、表現力等】 「対象者を表現力を作ることが出来る」 「学びに向かう力、人間性等】 「製食者をもてなすにはどのような方法があるのかを知り、表現することが出来る」 「実現考査」 「対象者を表現する」 「対象者を表現する」 「対象者を表現する」 「対象者を表現する」 「対象者を表現する」「対象者を表現する」 「対象者を表現する」 「対象者を表現する」 「対象者を表現する」 「対象者を表現する」 「対象者を表現する」「対象者を表現する」 「対象者を表現する」 「対象者を表現する」「対象者を表現する」「対象者を表現する」「対象者を表現する」「対象者を表現する」「対象者を表現する」「対象者を表現する」「対象者を表現する」「対象者を表現する」「対象者を表現する」「対象者を表現する」「対象者を表現する」「対象者を表現する」「対象者を表現する」「対象者を表現する」「対象者を表現する」「対象者を表現する」「対象者を表現する」 「表現する」「対象者を表現する」「対象者を表現する」「対象者を表現する」「対象者を表現する」 「対象者を表現する」「対象者を表現する」「対象者を表現する」「対象者を表現する」 「対象者を表現する」「対象者を表現する」 「対象者を表現する」「対象者を表現する」 「対象者を表現する」 「表現する」「対象者を表現する」「対象者を表現する」 「表現する」「対象者を表現する」「対象者を表現する」 「対象者を表現する」 「表現する」「対象者を表現する」 「対象者を表現する」 「表現する」「対象者を表現する」 「表現する」「対象者を表現する」 「表現する」 「表現する」「対象者を表現する」 「表現する」 「対象者を表現する」 「表現する」「表現する」 「表現する」「表現する」 「表現する」 「表現する」「表現する」 「表現する」「表現する」 「表現する」「表現する」 「表現する」「表現する」 「表現する」 「表現する」「表現する」 「表現する」「表現する」 「表現する」「表現する」 「表現する」「表現する」 「表現する」「表現する」 「表現する」「表現する」 「表現する」「表現する」 「表現する」「表現する」 「表現する」 「表現す	2 学期	【知識及び技能】 薬膳料理にはどのようなものがある か理解する 【思考力、判断力、表現力等】 薬膳料理で利用する食材と調理法に 関する知識を身に付ける 【学びに向かう力、人間性等】 薬膳料理を通じ、医食同源を理解す	・プリント ・コックコート一式 ・包丁セット	中国料理で用いる食材の種類と干貨の扱い方を理解している 【思考・判断・表現】 薬膳料理と調味料の関係を理解している 【主体的に学習に取り組む態度】 中国料理の香辛料について学びを深め、医食	0	0	0	15
【知識及び技能】		定期考査			0	0		5
	学期	【知識及び技能】 喫食者が食べやすいビュッフェ料理 を作るためにの工夫を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 喫食者が喜ぶビュッフェ料理にはど のようなものがあるか理解する 【学びに向かう力、人間性等】 喫食者が喜ぶ料理にはどのような工 夫があるかを知り、テーブルコー ディネートを通し表現する	・プリント ・コックコート一式 ・包丁セット ・サービスウェア一式	ビュッフェ料理の献立構成を理解し、一口サイズやフィンガーフードを作ることが出来る 【思考力、判断力、表現力等】 喫食者が喜ぶビュッフェ料理を作ることが出来る 【学びに向かう力、人間性等】 喫食者をもてなすにはどのような方法がある	0	0	0	15
		定期考査			0	0		

合計

105

高等学校 令和5年度(3学年用) 家庭 科目 調理理論 教科

科 目: 調理理論 教 科: 家庭 単位数: 2 単位

対象学年組:第 3 学年 3 組

使用教科書: (全国調理師養成施設協会 5調理実習 レシピ集 生活学NaVi

の月標:

【知識及び技能】

7 【学びに向かう力、人間性等】 日本料理の種類と調理法の違いを理 解し、現代における会席料理とうま

基本となる肉の下ごしらえ、調理器

西洋料理で使用する調理技術を習得

西洋料理の種類と調理法の違いを理

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

コックコート一式

包丁セット

みの関係を理解する

西洋料理(フルコース) 【知識及び技能】

具の使い方を理解する

2

する 期

【知 識 及 び 技 能】生活産業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】生活産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

0

9

日本料理の献立構成を理解し、実際に献立を

西洋料理で用いる肉の種類と下ごしらえの方

ランス料理の献立構成を理解し、実際に献

組むことが出来る

【知識・技能】

法を理解している

【思考・判断・表現】

立を組むことが出来る

西洋料理の技法を理解している 【主体的に学習に取り組む態度】

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、より良い社会の構築を目指して自ら学び、生活の質の向上

と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 調理理論

٦	理の基礎、献立作成及び様式別調理がついて体系的・系統的に理解するとの 連する技術を身に付けるようにする。	ともに、し、調理を通して食生	活の充実向上を担う職業	調理の面から食生活 自ら学び、創造的な 取り組む態度を身に	調理に	主体的		
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規	1準	知	思	態	配計時数
	日本料理(先付、お造り、焼き物、浸し物) 【知識及び技能】 地域や種類により料理の名称や造り 方の違いをを知る 【思考力、判断力、表現力等】 日本料理で使用する調理技術を習得する 【学びに向かう力、人間性等】 日本料理の種類と調理法の違いを理解し、現代における会席料理とうまみの関係を理解する	・教科書 ・プリント ・コックコート一式 ・包丁セット	中国料理 【知識・技能】 日本料理の魚の卸し方、 している 【思考・判断・表現】 日本料理の技法を理解し 【主体的に学習に取り起 日本料理の献立構成を理 組むことが出来る	ている む態度】	0	0	0	10
1 学期	西洋料理(ヴィアンド) 【知識及び技能】 基本となる肉の下ごしらえ、調理器 具の使い方を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 西洋料理で使用する調理技術を習得する 【学びに向かう力、人間性等】 西洋料理の種類と調理法の違いを理解し、現代におけるフランス料理と ソースの関係を理解する	<ul><li>教科書</li><li>・ブリント</li><li>・コックコート一式</li><li>・包丁セット</li></ul>	西洋料理 【知識・技能】 西洋料理で用いる肉の種 法を理解している 【思考・判断・表現】 西洋料理の技法を理解し 【主体的に学習に取り組 フランス料理の献立構成 立を組むことが出来る	ている む態度】	0	0	0	10
	中国料理(火烹法) 【知識及び技能】 放射熱を利用する調理法にはどのようなものがあるか理解する 【思考力、判断力、表現力等】 放射熱を利用する料理と火烹法の種類が結びつく知識を身に付ける 【学びに向かう力、人間性等】 中国料理の種類と調理例を通し、火烹法に用いた料理を理解する	・教科書 ・プリント ・コックコート一式 ・包丁セット	【知識・技能】 中国料理で用いる食材の を理解している 【思考・判断・表現】 中華料理の技法を理解し 【主体的に学習に取り組 中国料理の献立構成を理 組むことが出来る	ている む態度】	0	0	0	ę
	定期考査				0	0		2
	日本料理(会席料理) 【知識及び技能】 地域や種類により料理の名称や造り 方の違いを知る 【思考力、判断力、表現力等】 日本料理で使用する調理技術を習得 する	・教科書 ・プリント ・コックコート一式 ・包丁セット	中国料理 【知識・技能】 日本料理の魚の卸し方、を理解している 【思考・判断・表現】 日本料理の技法を理解し 【主体制部の対すに関する	ている む態度】	0	0	0	9

	解し、現代におけるフランス料理と ソースの関係を理解する						
	中国料理(薬膳料理) 【知識及び技能】 薬膳料理にはどのようなものがある か理解する 【思考力、判断力、表現力等】 薬膳料理で利用する食材と調理法に 関する知識を身に付ける 【学びに向かう力、人間性等】 薬膳料理を通じ、医食同源を理解する	・包丁セット	【知識・技能】 中国料理で用いる食材の種類と干貨の扱い方 を理解している 【思考・判断・表現】 薬膳料理と調味料の関係を理解している 【主体的に学習に取り組む態度】 中国料理の香辛料について学びを深め、医食 同源の料理を作ることが出来る	0	0	0	9
	定期考査			0	0		2
3 学期	【思考力、判断力、表現力等】 喫食者が喜ぶビュッフェ料理にはどのようなものがあるか理解する 【学びに向かう力、人間性等】 喫食者が喜ぶ料理にはどのような工 夫があるかを知り、テーブルコー ディネートを通し表現する	・包丁セット ・サービスウェア一式	【知識及び技能】 ビュッフェ料理の献立構成を理解し、一口サイズやフィンガーフードを作ることが出来る 【思考力、判断力、表現力等】 喫食者が喜ぶビュッフェ料理を作ることが出来る 【学びに向かう力、人間性等】 喫食者をもてなすにはどのような方法があるのかを知り、表現することが出来る	0	0	0	9
	定期考査			0	0		1

合計 70

に備える。

# 高等学校 令和5年度(3学年用) 教科 福祉 科目 社会福祉基礎

教 科: 福祉 科 目: 社会福祉基礎 単位 2 単位

対象学年組:第 3 学年 4 組~ 組

使用教科書: (社会福祉基礎(実教出版))

教科 福祉 の目標 福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、福祉を通じ、人間の尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の発展を担う職業

人として必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】 社会福祉の各分野について体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 社会福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業生活を営むために必要な豊かな人間性を育む。自ら学び、生活の質の向上と社会の発展に主体的かつ協働

【学びに向かう刀、人間性等】 的に取り組む態度を養う。

【知識及び技能】

福祉の基礎を学習し、社会に望まれるスペシャ リストの育成を目指しながら、各自の進路実現

科目 社会福祉基礎 の目標: 福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、社会福祉の 向上に必要な資質・能力を育成する。

【思考力、判断力、表現力等】

・考え抜く力(課題発見力・計画力・創造力)を養う。・未来のなりたい自分を創造する。・チームカ(発信力・傾聴力・柔軟

性・状況把握力・規律性・ストレスコント

【学びに向かう力、人間性等】 演習を交え、基本的な技法を用いて症例・ 事例を体験展開し、社会に適応出来る能力 (覚悟と基礎力)を身に付け、コミュニ

ケーション能力を高める。

		性・状況把握力・規律性・ス ロールカ)を養う。	トレスコント ゲーション能力	を高め	<b>ර</b> ං		
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
	第4編 第1章コミュニケーションの基礎 【知識及び技能】 コシュニケーションの概念や対象に応じたコミュニケーション技術について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自らを客観的に振り返る。	<ul><li>・コミュニケーションの意義・役割</li><li>・コミュニケーションの基礎的方法</li></ul>	【知識・技能】 ワークシート・実習 【思考・判断・表現】 発問、発表・実習 【学びに向かう力、人間性等】 ワークシート	0	0	0	3
1 学期	第4編 第2章援助における人間関係の形成 【知識及び技能】 対人援助における人間関係の形成について、専門職として必要な知識を身につけ、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自らを客観的に振り返る。	・傾聴、受容、共感の姿勢 ・利用者理解と援助者の自己理解	【知識・技能】 ワークシート・実習 【思考・判断・表現】 発問、発表・実習 【学びに向かう力、人間性等】 ワークシート	0	0	0	3
	定期考査			0	0		1
	第4編 第3章社会福祉援助活動の概要 【知識及び技能】 個別援助技術、集団援助技術、地域援助技術の役割と特徴について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自らを客観的に振り返る。	<ul><li>・個別援助技術の活用と福祉活動</li><li>・集団援助技術の活用と福祉活動</li><li>・地域援助技術の活用と福祉活動</li><li>・社会福祉援助活動の発展</li></ul>	【知識・技能】 ワークシート・実習 【思考・判断・表現】 発問、発表・実習 【学びに向かう力、人間性等】 ワークシート	0	0	0	6
	定期考査			0	0		1
	第5編 第1章地域福祉の進展と地域の将来 【知識及び技能】 地域福祉活動やボランティア、非営利 民間福祉活動の役割と意義について理 解する。 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを 深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自ら を客観的に振り返る。	<ul><li>・地域福祉活動とボランティア</li><li>・非営利民間福祉活動</li><li>・福祉のまちづくりと地域社会の将来</li></ul>	【知識・技能】 ワークシート・実習 【思考・判断・表現】 発問、発表・実習 【学びに向かう力、人間性等】 ワークシート				7
	定期考査			0	0		1
学期	第5編 第2章多様な社会支援制度 【知識及び技能】 社会保障制度、高齢者福祉、介護保 険、地域包括ケアシステムについて理	<ul><li>・地域医療</li><li>・教育</li><li>・雇用、就労支援</li><li>・住宅、居住サポート</li><li>・司法と福祉の連携</li></ul>	【知識・技能】 ワークシート・実習 【思考・判断・表現】 発問、発表・実習 【学びに向かう力、人間性等】				

	解する。 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを 深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自ら を客観的に振り返る。	・権利擁護と成年後見制度	ワークシート				6
	定期考査			0	0		1
3 学期	第5編 第3章社会福祉の将来と福祉の担い手 【知識及び技能】 日本における今後の福祉の課題につい て理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを 深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自ら を客観的に振り返る。	・多様なニーズを抱える人々への支援 ・福祉・介護人材の養成とキャリア形成 ・日本における社会福祉の役割と新しい方向	【知識・技能】 ワークシート・実習 【思考・判断・表現】 発問、発表・実習 【学びに向かう力、人間性等】 ワークシート	0	0	0	5
	定期考査			0	0		1 合計 35

# 高等学校 令和5年度(3学年用) 教科

# 科目 コミュニケーション技術

教 科: 福祉 科 目: コミュニケーション技術 単位数: 2 単位

対象学年組:第 3 学年 4 組

使用教科書: (コミュニケーション技術

)

教科 福祉 の目標:

【 知 識 及 び 技 能 】福祉の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に着けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性をはぐくみ、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発達に主体的かつ共同的に取り組む態度を養う。

科目 コミュニケーション技術 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
介護福祉場面で活用できるコミュニケーション における基礎的な知識と技術を習得する。	理解し、それに応じたコミュニケーションを 実践する力を養う。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	介護におけるコミュニケーションの 意義と役割 【知識及事者としての人間関係形成に 必要なコニケーションの意義と 役割について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 介護従事なとしての人間関係の形成 に必要なったの人間関係の形成に必要なった。 「一般で必要なった。」 「学びに向かう力、人間性等】 介護従事者としてのもり国理解を深め、利用者を含めた他者理解を深める	・人間理解 ・人間理解 ・人間関係 ・自己理解 ・自己理解 ・自己用示 ・自己開示 教材	【知識・技能】 介護におけるコミュニケーションの意義と役割を理解し、意図的にコミュニケーション実践を行うための知識を身に付ける。 【思考・判断・表現】 介護におけるコミュニケーションの意義と役割を理解し、意図的にコミュニケーショと襲を行うための方法について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 介護におけるコミュニケーションの意義と役割を理解し、意図的にコミュニケーションの意義と役割を理解し、意図的にコミュニケーショと実践を行うための方法を実践につなげようとしている。	0	0	0	9
1	定期考査			0	0		1
学期	介護場面におけるコミュニケーションの基本的技術の理解 【知識及び技能】 小護場面におけるコミュニケーションの基本的な技法を理解する。 【農場面におけるコミュニケーションの基本的な技法を理解する。 【思場場面におけるコミューケーションの基場面における空理解したが一方の表別である。 【農場面におけるでは、一般で第一次の基本の世た技術を考察で等】 介護場面におけるを理解したがある。 【管場面におけるを理解したがありまけるのよりよのよりは係構築につなげる力用者方法を考察できる	<ul><li>・言語的コミュニケーション</li><li>・非言語的コミュニケーション</li><li>・傾聴</li><li>・受容</li><li>・共感</li><li>・効果的な質問</li></ul>	【知識・技能】 介護場面において必要な人間関係形成を図る ためのコミュニケーションに関する知識や技 術を身に付けている。  【思考・判断・表現】 介護場面において必要な人間関係形成を図る ためのコミュニケーションのあり方を、根拠 を持って考察できる。  【主体的に学習に取り組む態度】 介護場面において必要な人間関係形成を図る ためのコミュニケーションについて、主体的 かつ協働的に考え実践しようとする。	0	0	0	12
	定期考査			0	0		1
	サービス利用者に応じたコミュニケーション 高齢者・視覚障害・聴覚障害・聴覚障害・ 電害 【知識及び技能】 加に及び表ができな知識をを見ないに及びする。 【思考力、判断力、表現力等】 かに及ぼすシンに必要な知識を身にしている。 【思考力、判断カコミュニ付ける。 【思考方に及びたコションに及びたコションに及びたコションに及びたコションに及びたコションにのからカカ、人間性等】 かに及びたコションにのからがコロッションに及びたが、各様である。 【学びに向かきが理解し、ションを考察する。	<ul> <li>・障害がもたらす二次障害</li> <li>・先天障害</li> <li>・中途障害</li> <li>・聴覚障害とコミュニケーション</li> <li>・視覚障害とコミュニケーション</li> <li>・言語障害とコミュニケーション</li> <li>教材</li> <li>・ワークシート等</li> </ul>	【知識・技能】 加齢、各障害がコミュニケーションに及ぼす影響を理解し、関連する知識や技術を身に付けている 【思考・判断・表現】 加齢、各障害がコミュニケーションに及ぼす影響と生活における課題を発見し、創造的に解決に向けて考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 加齢、各障害がコミュニケーションに及ぼす影響や生活における課題を理解し、利用者の生きがいや生活向上に繋がるコミュニケーションを考え、実践しようとする。	0	0	0	18
2	定期考査			0	0		1
学期	サービス利用者に応じたコミュニケーション 運動機能障害、知的障害、認知症と その家族 【知識及び技能】	指導事項 ・言語障害 ・運動機能障害 ・言語障害、運動機能障害のある 人の生活	【知識・技能】 加齢、各障害がコミュニケーションに及ぼす 影響を理解し、関連する知識や技術を身に付 けている 【思考・判断・表現】				

	各障害が利用者・家族とのコミュニケーションに及ぼす影響を理解したコミュニケーションに必要な知識を見に付ける。  【思考力、判断力、表現力等】各障害が利用者・家族響を理解しまケーションに及ぼす影響を理解しまった。  【というなどの方法を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 コーンの方法を考察する。 【学びに向から力、大間性等】 コーンの意味を考察する。	人とのコミュニケーション ・認知症 ・認知症利用者の家族 教材	加齢、各障害がコミュニケーションに及ぼす影響と生活における課題を発見し、創造的に解決に向けて考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 加齢、各障害がコミュニケーションに及ぼす影響や生活における課題を理解し、利用者の生きがいや生活向上に繋がるコミュニケーションを考え、実践しようとする。	0	0	0	17
	定期考査			0	0		1
3 学期		・チームとしての連携 ・情報共有化のための基礎知識 ・記録の理解 ・記録の種類と方法	【知識・技能】 介護場面において、利用者の生活を支える チームとしての連携と情報共有の基本的技術 の知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 介護場面において、利用者の生活を支える チームとしての連携と情報共有方法を科学的 根拠に基づいて創造し解決にむけて考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 介護場面において、利用者の生活を支える チームとしての連携と情報共有方法について、科学的根拠に基づいて主体的かつ協働的 に考えることができる。	0	0	0	10
							一百百

高等学校 令和5年度(3学年用) 教科 福祉 科目 介護過程

単位数: 2 単位 教 科: 福祉 科 目: 介護過程

対象学年組:第 3 学年 4 組

使用教科書: (実教出版:「介護過程」 中央法規:「介護過程」

の目標: 福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、福祉を通じ、人間の尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。 教科 福祉

【 知 識 及 び 技 能 】福祉分野について、体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会生活を目指して学び、発展的、協働的社会に取り組める態度を育む。

科目 介護過程

の目標: 利用者の尊厳の保持、自立生活支援の観点から介護過程の意義と役割を理解する。 利用者の生活課題の解決に向けて、介護職として望ましい考えのもと介護過程を展開できる能力と態度

を育てる。

【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 福祉に関する教科で学んだ知識と技術を統合 個別的な生活支援を展開する上で、生活導 生活を支援する専門職として、生活上の課 個別支援の意義、役割を理解するとともに生活 における継続的な支援が行えるよう技術力の向 に気づくことができ、計画を修正展開できる 解決力を習得できる。 や身体、精神面の変容に気づける観察力を高 め 専門用語を用いた記録(表現)力を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	第1章 介護過程が目指すもの P8 第1節 根拠に基づいた生活支援 第2節 介護過程の意義 第3節 介護過程の目的・基本視点 【知識及び技能】 生活支援に関する技術は根拠にも とづいて行われていることを理解で きる	指導事項 ・基本的生活を理解できる ・個別ケアの必要性が理解できる 教材 実教:介護過程 中央法規:介護過程 ・事例等 ・PCの活用 等	【知識・技能】 根拠に基づいた介護実践には、利用者の視 点での解決を目的とした介護過程が必要であ ることを理解する 【思考・判断・表現】 介護過程における各展開過程を理解すると共 に計画自体の意義について考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 介護過程の目的を日本国憲法の基本的人権、	0	0	0	4
1	【思考力、判断力、表現力等】 個々によって、生活スタイルが異なるため、ニーズに沿った支援に着目する 【学びに向かう力、人間性等】 生活支援を行ううえで、生活動作から求められる支援を考察できる。		一般という。 幸福追求権を根拠に理解するとともに、実際 に求められる視点について考察する。	0	0	0	6
1 学期	介護過程の展開 実教P22 第1章 情報収集とアセスメント 第2章 生活課題と目標設定 【知識及び技能】 利用者の方にかかわる情報収集の 取り方や意図的なコミュニケーショ ンを用いた収集方法の違いが理解で		【知識・技能】 利用者の方にかかわる情報収集の取り方や 意図的なコミュニケーションを用いて収集方 法の違いを習得する。 【思考・判断・表現】 生活に関する課題を整理するために、色別 を用いて関連図作りを行い整理することで、 課題が明確化すできる。	0	0	0	10
	きる。 【思考力、判断力、表現力等】 生活に関する課題を整理するため に関連図作りを行い考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 日々の状態を把握するための動 作、観察した現状を記録へ繋げる。	する課題を整理するため りを行い考察する。 かう力、人間性等】 態を把握するための動	日常の学習時から、様々な書式に合わせた 表現・専門用語を用いた文章を書き、構成力	0	0	0	4
	定期考査			0	0	0	1
2	介護過程の展開 実教P48 第3章 介護計画の立案 第4章 課題計画の実施と評価 【知識及び技能】 生活全体を把握し、課題を整理するための解釈、統合、計画立案の仕 組みがわかる。 【思考力、判断力、表現力等】	指導事項 ・介護過程の意味を理解させる ・利用者の願いと必要性の区分に ついて演習等を用いて具体的に 理解させる ・専門職としての情報共有、連携 をとる必要性がわかる。 教材 実教:介護過程	【知識・技能】 生活全体を把握し、課題を整理するため解 釈、統合、計画立案の一連の仕組みが理解で きる。 【思考・判断・表現】 生活に関する課題に命に関連する課題など に優先順位を付けられ計画が立案できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 計画に沿った支援から得られた情報を記録	0	0	0	12
字期		表	計画に行うた义抜から待られた情報を記録 し現状に沿った立案がきる。	0	0	0	15
	定期考査			0	0	0	1
	介護過程の実践 実教P78 第1章 介護過程の展開の実際 ・再アセスメント ・修正 【知識及び技能】 日々の生活上の課題を観察や記録 から情報取るため、修得力を高め	指導事項 ・介護計画に基づいた支援の展開 が理解できる。 ・日々の支援内容を記録に繋がる ことがわかる。  教材 実教:介護過程	【知識・技能】 日々の生活上の課題を観察や記録から情報 を取るための修得力が習得できる。 【思考・判断・表現】 生活に関する課題目標に優先順位を付ける ことができ、サービス提供時の様子を専門的 視点、思考、過程を表現することができる。	0	0	0	16

3 学 期		【王体的に字首に取り組む態度】 計画に沿った支援から得られた、情報を記録へ繋げ、展開ができ修正に繋げられる。				
	定期考査		0	0	0	1
						合計
						70

## 年間授業計画

高等学校 令和 5 年度(3学年用) 教科 福祉 科目 介護総合演習・介護実習

教 科:福祉 科 目: 介護総合演習・介護実習 単位数: 6 単位

対象学年組:第 3 学年 4 組~ 組

使用教科書: 中央法規「介護総合演習・介護実習」 )

教科 福祉 の目標:

【知識及び技能】介護従事者として職業倫理及び基礎的基本的意義と技能を習得する

【思考力、判断力、表現力等】各科目の学習で得た知識を生かし、対象者を適切にアセスメントして関わることができる

【学びに向かう力、人間性等】様々な対象者に対するコミュニケーションを積極敵に図り、介護従事者に必要な人減関係の構築を図る

科目 介護総合演習・介護実習 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
介護従事者としての職業倫理及び基礎的・基本 的な知識と技術を活用した介護支援が選択でき るようになる	介護の実際を学び、積雪な態度と言葉使いで	施設実習での様々な場面において、なぜそのような支援が必要なのか、介護の本質は何かについて深く理解しようと努め、関心を持って実習に挑んでいる

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
介護	隻実習事前指導	実習の手引き 実習の心得 実習記録の書き方 実習の留意点等 テキスト・教科書・手引き等を 用いて指導	福祉の見方、考え方を働かせ、実践的・体験的な実習目標を心得ている 介護実習の留意点を正しく理解し、実践できている 学習に対する積極性がみられる	0	0	0	4
介護	隻実習	施設実習(特別養護老人ホーム) 巡回指導を定期的に実施 実習指導者との連絡調整	福祉の見方、考え方を働かせ、実践的・体験的な介護実習を積極的に行えた 介護及び支援の実践に関連する技術を身に付けた 安全で健全な介護実習を実施し、適切に振り返ることができた	0	0	0	140
5 E	日間の施設実習	施設実習(特別養護老人ホーム) 巡回指導を定期的に実施 実習指導者との連絡調整	福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な介護実習を積極的かつ安全に実施できたコミュニケーションを積極的に活用し、利用者理解に努めた 専門用語を活用し、正しく記録できた	0	0	0	35
2	<b>隻実習事後指導</b>	実習成果のまとめ 成果発表会に向けての準備	介護実習での学びを生かし、健全な福祉 社会に向けた学びがあったか 介護実習を通じた学びを適切に振り返り、専 門用語を用いてまとめることができたか 今後の学習及び介護実習につなげる学びを適 切にまとめているか	0	0	0	28
<b>学</b> 期	<b>隻実習事後指導</b>	実習成果報告会の実施	介護実習での学びを生かし、健全な福祉 社会に向けた学びがあったか 介護実習を通じた学びを適切に振り返り、専門用語を用いてまとめることができたか 今後の学習及び介護実習につなげる学びを適切にまとめているか	0	0	0	3
3 学 期							合計 210

## 年間授業計画

高等学校 令和5年度(3学年用) 教科 福祉 科目 介護福祉基礎

 教 科: 福祉
 科 目: 介護福祉基礎
 単位数: 1 単位

対象学年組:第 3 学年 4 組

使用教科書: (介護福祉基礎 実教出版 )

**枚科 福祉** の目標: 介護の意義と役割を理解し、介護を適切に行う能力と態度を身に付ける。

【知 識 及 び 技 能】 福祉の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【一般に自分を表現に主体的かつ協働的に取り組む態度を養

福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 う。

科目 介護福祉基礎 の目標:

【思考力、判断力、表現力等】

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	介護における安全確保と危機管理 ・安全確保と事故対策 ・安全確保と事故対策 【知識及び技能】 リスクマジメントを学ぶ 感染症対策を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他でいる。 【学びに向かう力、人間性等】 発めようとしたり、自己評価を行い、自らを名観的に振り返る。	介護の意義と役割を理解し、安全に介護を適切に行う能力と態度を身に付ける。 【教科書、ワークシート、端末】	【知識・技能】 ワークシート・実習 【思考・判断・表現】 発問、発表・実習 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート	0	0	0	4
	まとめ学習 介護の意義と役割 ・尊厳を支える介護 【知識及び技能】 尊厳について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを 深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自ら を客観的に振り返る。	介護の意義と役割を理解し、尊厳を踏まえた介護を適切に行う能力と態度を身に付ける。 【教科書、ワークシート、端末】	【知識・技能】 ワークシート・実習 【思考・判断・表現】 発問、発表・実習 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート	0	0	0	4
1 学	定期考査			0	0		1
期	まとめ学習 介護従事者の倫理 【知識及び技能】 倫理について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを 深めようとしている。 (学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自ら を客観的に振り返る。	介護の意義と役割を理解し、倫理を踏まえた介護を適切に行う能力と態度を身に付ける。 【教科書、ワークシート、端末】	【知識・技能】 ワークシート・実習 【思考・判断・表現】 発問、発表・実習 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート	0	0	0	4
	まとめ学習 介護を必要とする人の理解と介護 ・高齢者の生活と介護 【知識者の特徴や活動等を理解し、介護 の在り方を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 事例ようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自ら を客観的に振り返る。	介護の意義と役割を理解し、生活支援を踏まえた介護を適切に行う能力と態度を身に付ける。 【教科書、ワークシート、端末】	【知識・技能】 ワークシート・実習 【思考・判断・表現】 発問、発表・実習 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート	0	0	0	4
	定期考査			0	0		1
	まとめ学習 介護を必要とする人の理解と介護 ・障碍者の生活と支援 【知識及び技能】 障害を理解し、具体的な生活支援を学 ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを 深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自ら を客観的に振り返る。	介護の意義と役割を理解し、障害を踏まえた介護を適切に行う能力と態度を身に付ける。 【教科書、ワークシート、端末】	【知識・技能】  ワークシート・実習 【思考・判断・表現】  発問、発表・実習 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート	0	0	0	4
2	定期考査			0	0		1
学期	まとめ学習	介護の意義と役割を理解し、自立	【知識・技能】				+

	介護を必要とする人の生活環境 ・介護を必要境 ・自立に向けた介護 【知識及び技能】 生活と環境の関係性を理解し、自立に向けた支援を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自らを客観的に振り返る。	支援を踏まえた介護を適切に行う 能力と態度を身に付ける。 【教科書、ワークシート、端末】	ワークシート・実習 【思考・判断・表現】 発問、発表・実習 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート	0	0	0	4
	定期考査			0	0		1
3	まとめ学習 介護福祉の担い手 ・介護従事者を取り巻く状況 ・介護従事者を取り巻く状況 ・介護従事者の役割 【知識及び技能】 介護福祉士誕生の背景を理解し、役割 について考察する 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意 深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自ら を客観的に振り返る。	介護の意義と役割を理解し、介護を適切に行う能力と態度を身に付ける。 【教科書、ワークシート、端末】	【知識・技能】 ワークシート・実習 【思考・判断・表現】 発問、発表・実習 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート	0	0	0	4
学				0	0		1
期	まとめ学習 介護福祉サービスの概要と連携 ・介護サービスの概要 ・介護における連携 【知識及び技能】 介護保険制度を理解し、多職種連携を 学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを 深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自ら を客観的に振り返る。	介護の意義と役割を理解し、多職種連携を踏まえた介護を適切に行う能力と態度を身に付ける。 【教科書、ワークシート、端末】	【知識・技能】 ワークシート・実習 【思考・判断・表現】 発問、発表・実習 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート	0	0	0	2 合計 35

### 高等学校 令和5年度(3学年用) 福祉 科目 社会福祉基礎 教科

科 目: 社会福祉基礎 教 科: 福祉 単位 2 単位

対象学年組:第 3 学年 4 組

使用教科書: (社会福祉基礎(実教出版)

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、福祉を通じ、人間の尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の発展を担う職業 教科 福祉 の目標:

人として必要な資質・能力を育成する。

社会福祉の各分野について体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けるようにする 【知識及び技能】

社会福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する 【思考力、判断力、表現力等】

力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業生活を営むために必要な豊かな人間性を育む。自ら学び、生活の質の向上と社会の発展に主体

的かつ協働的に取り組む態度を養う。

の目標・福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、社 科目 社会福祉基礎

会福祉の向上に必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
福祉の基礎を学習し、社会に望まれるスペシャリストの育成を目指しながら、各自の進路実現に備える。		

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	第4編 第1章コミュニケーションの基礎 【知識及び技能】 コミュニケーションの概念や対象に応 でたコミュニケーション技術について 理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを 深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自ら を客観的に振り返る。	<ul><li>・コミュニケーションの意義・役割</li><li>・コミュニケーションの基礎的方法</li></ul>	【知識・技能】 ワークシート・実習 【思考・判断・表現】 発問、発表・実習 【学びに向かう力、人間性等】 ワークシート	0	0	0	3
1 学期	第4編 第2章援助における人間関係の形成 【知識及び技能】 対人援助における人間関係の形成について、専門職として必要な知識を身につけ、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自らを客観的に振り返る。	・傾聴、受容、共感の姿勢 ・利用者理解と援助者の自己理解	【知識・技能】 ワークシート・実習 【思考・判断・表現】 発問、発表・実習 【学びに向かう力、人間性等】 ワークシート	0	0	0	3
	定期考査			0	0		1
	第4編 第3章社会福祉援助活動の概要 【知識及び技能】 個別援助技術、集団援助技術、地域援助技術の役割と特徴について理解する。 。 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自らを客観的に振り返る。	<ul><li>・個別援助技術の活用と福祉活動</li><li>・集団援助技術の活用と福祉活動</li><li>・地域援助技術の活用と福祉活動</li><li>・社会福祉援助活動の発展</li></ul>	【知識・技能】 ワークシート・実習 【思考・判断・表現】 発問、発表・実習 【学びに向かうカ、人間性等】 ワークシート	0	0	0	6
	定期考査			0	0		1
	第5編 第1章地域福祉の進展と地域の将来 【知識及び技能】 地域福祉活動やボランティア、非営利 民間福祉活動の役割と意義について理 解する。 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを 深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自ら を客観的に振り返る。	・地域福祉活動とボランティア ・非営利民間福祉活動 ・福祉のまちづくりと地域社会の将来	【知識・技能】 ワークシート・実習 【思考・判断・表現】 発問、発表・実習 【学びに向かう力、人間性等】 ワークシート				7
٦	定期考査			$\cap$	$\cap$		1

<u>∠</u>				$\vee$	$\cup$		1
	第5編 第2章多様な社会支援制度 【知識及び技能】 社会保障制度、高齢者福祉、介護保 険、地域包括ケアシステムについて理 解する。 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを 深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自ら を客観的に振り返る。	・地域医療 ・教育 ・雇用、就労支援 ・住民サポート ・司法と福祉の連携 ・権利擁護と成年後見制度	【知識・技能】 ワークシート・実習 【思考・判断・表現】 発問、発表・実習 【学びに向かう力、人間性等】 ワークシート				7
	定期考查			0	0		1
尝	第5編 第3章社会福祉の将来と福祉の担い手 【知識及び技能】 日本における今後の福祉の課題につい て理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを 深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自ら を客観的に振り返る。	・新しい社会連携と福祉の推進 ・利用者支援と消費者保護 ・多様なニーズを抱える人々への支援 ・福祉・介護人材の養成とキャリア形成 ・日本における社会福祉の役割と新しい方向	【知識・技能】 ワークシート・実習 【思考・判断・表現】 発問、発表・実習 【学びに向かう力、人間性等】 ワークシート	0	0	0	5
	定期考查			0	0		1 合計 36

## 年間授業計画

高等学校 令和 5 年度 (3 学年用) 教科 福祉 科目 生活支援技術 社 科 目: 生活支援技術 単位数: 3 単位

 教 科: 福祉
 科 目: 生活支援技術

 対象学年組:第 3 学年 4 組~
 組

使用教科書: (中央法規 医療的ケア) )

教科 福祉 の目標:

【知識及び技能】医療的ケアを安全に実践できる知識・技術を身につける

【思考力、判断力、表現力等】医療的ケア対象者に関する課題を発見し、倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う

【学びに向かう力、人間性等】豊かな人間性を育み、よいよい社会の構築を目指して自ら学び、発展的かつ協働的に取り組む態度を育む

科目 生活支援技術

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かうカ、人間性等】
こころとからだのしくみの知識を踏まえ、医療的ケアを必要とする対象者の特徴に合わせ、 根拠をもって安全かつ正確な技術を身に付けられる	適宜活用することができ、留意点を踏まえた適	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	喀痰吸引(鼻腔)演習 【知識及び技能】医療的ケアに関する知識を理解し習得できる 【思考力、判断力、表現力等】 学習を通じた気づきを適切な 専門用語を用いて表現できる 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協調し、探究的活動を積極的 に行える	・演習を通じた技術の習得 ・技術定着テスト (4回) 及び修了 テスト (1回)	【知識・技能】 対象者の身体的特徴を理解し寝衣交換にける 留意点及び安全安楽な技術を行っている 【思考・判断・表現】 知識を活用して適切に判断し、演習を通じて 気づきや振り返りを専門用語を用いて表現で きる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の提出期限を厳守し、留意点を含めた正 しい手順を他者と協働しながら積極的に行え	0	0	0	15
	喀痰吸引(口腔内) 【知識及び技能】医療的ケアに関する知識を理解し習得できる 【思考力、判断力、表現力等】 学習を通じた気づきや学びを適切な専門用語を用いて表現できる 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協調し、探究的活動を積極的 に行える	・演習を通じた技術の習得 ・技術定着テスト (4回) 及び修了 テスト (1回)	【知識・技能】 対象者の身体的特徴を理解し医療的ケアにける留意点及び安全安楽な技術を行っている 【思考・判断・表現】 知識を活用して適切に判断し、演習を通じて気づきや振り返りを専門用語を用いて表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の提出期限を厳守し、留意点を含めた正しい手順を他者と協働しながら積極的に行える。	0	0	0	15
1	定期考査			0	0		1
学期	喀痰吸引(気切カニューレ) 【知識及び技能】医療的ケアに関する知識を理解し習得できる 【思考力、判断力、表現力等】 学習を通じた気づきや学びを適切な専門用語を用いて表現できる 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協調し、探究的活動を積極的に行える	テスト (1回)	【知識・技能】 対象者の身体的特徴を理解しシャワー浴・機 被浴・手浴・足浴にける留意点及び安全安楽 な技術を行っている 【思考・判断・表現】 知識を活用して適切に判断し、演習を通じて 気づきや振り返りを専門用語を用いて表現で きる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の提出期限を厳守し、留意点を含めた正 しい手順を他者と協働しながら積極的に行え	0	0	0	15
	医療的ケア・法的根拠・ 【知識及び技能】医療的ケアに関する知識を理解し習得できる 【思考力、判断力、表現力等】 学習を通じた気づきや学びを適切な専門用語を用いて表現できる 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協調し、探究的活動を積極的に行える	<ul> <li>・演習を通じた技術の習得</li> <li>・技術定着テスト(4回)及び修了</li> <li>テスト(1回)</li> </ul>	【知識・技能】 対象者の身体的特徴を理解し医療的ケアにける留意点及び安全安楽な技術を行っている 【思考・判断・表現】 知識を活用して適切に判断し、演習を通じて気づきや振り返りを専門用語を用いて表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の提出期限を厳守し、留意点を含めた正しい手順を他者と協働しながら積極的に行え	0	0	0	15
	定期考査			0	0	0	1
2	る知識を理解し習得できる 【思考力、判断力、表現力等】 学習を通じた気づきや学びを適切な 専門用語を用いて表現できる 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協調し、探究的活動を積極的 に行える	テスト (1回)	【知識・技能】 対象者の身体的特徴を理解しベッド上洗髪にける留意点及び安全安楽な技術を行っている 【思考・判断・表現】 知識を活用して適切に判断し、演習を通じて気づきや振り返りを専門用語を用いて表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の提出期限を厳守し、留意点を含めた正しい手順を他者と協働しながら積極的に行え	0	0	0	16
学	定期考査	- 冷羽大澤ドを仕継の羽伊	【加数,什么】	0	0	0	1
期	経管栄養(胃ろう・腸ろう) 【知識及び技能】医療的ケアに関する知識を理解し習得できる 【思考力、判断力、表現力等】 学習を通じた気づきや学びを適切な 専門用語を用いて表現できる 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協調し、探究的活動を積極的 に行える	<ul> <li>・演習を通じた技術の習得</li> <li>・技術定着テスト (4回) 及び修了</li> <li>テスト (1回)</li> </ul>	【知識・技能】 対象者の身体的特徴を理解し医療的ケアにける留意点及び安全安楽な技術を行っている 【思考・判断・表現】 知識を活用して適切に判断し、演習を通じて気づきや振り返りを専門用語を用いて表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の提出期限を厳守し、留意点を含めた正しい手順を他者と協働しながら積極的に行え	0	0	0	16
	医療的ケア	  ・国家試験対策	【知識・技能】				

る知識を理解し習得できる 【思考力、判断力、表現力等】 3 学習を通じた気づきや学びを適切な 専門用語を用いて表現できる	E現力等】 用いた学習 学びを適切な・演習を通じたグループ討議 できる・グループごとの探究活動と学 間性等】 容を発表し合い共有する	東京	0	0	0	11 合計 105
--	---	----	---	---	---	-----------------